

平成22年度 事務事業評価

整理番号
2-20

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	06	01	10	02	01
細事業名		国営丹後土地改良事業負担金				

担当部局	農林水産環境部
担当課等	農林整備課
担当課長の氏名	森田 正二
担当者の氏名	平林 智子

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) I 交流経済都市 計画項目 (施策) ② 農林業の振興 施策方針 1-4 国営開発営農の振興
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 国営丹後土地改良事業(丹後西部地区H12完了・丹後東部地区H14完了)の受益者負担金(市及び農家)を計画的に償還する。 事業の目的 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 市及び農家負担金を計画的に償還し、一部繰上償還を行なうことにより金利(5%)の軽減を図る。

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 市及び受益者の、受益者負担金を規定(3年据置15年償還)・一部繰上償還により償還した。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 元金の繰上償還による年5%の償還利息の軽減と規定償還を行い、負担金の適正な償還が図られた。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	19	115,847	国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金	国営農地開発事業負	6,514
			その他		
			一般財源		109,333
事業費合計		115,847	合計		115,847

CHECK							
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか						
	<table border="1"> <tr> <td>○</td> <td>進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由 一部繰上償還を行なうことにより軽減が図られた。</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○	進捗している(できている)	理由 一部繰上償還を行なうことにより軽減が図られた。	○	▲ 少し遅れている(少しできていない)	○
○	進捗している(できている)	理由 一部繰上償還を行なうことにより軽減が図られた。					
○	▲ 少し遅れている(少しできていない)						
○	× 遅れている(できていない)						
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか						
	<table border="1"> <tr> <td>○</td> <td>削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由 一部繰上償還を行い早期償還を行うことにより、利息軽減が図られる。</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○	削減の余地がなかった	理由 一部繰上償還を行い早期償還を行うことにより、利息軽減が図られる。	○	▲ 少し削減の余地があった	○
○	削減の余地がなかった	理由 一部繰上償還を行い早期償還を行うことにより、利息軽減が図られる。					
○	▲ 少し削減の余地があった						
○	× 削減の余地があった						

ACTION							
改善	事業内容の方向性						
	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由 国営丹後土地改良事業の市及び農家の負担について早期償還を図り、償還利息の軽減を図る。</td> </tr> <tr> <td>A</td> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td>A</td> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A	A 現状維持	理由 国営丹後土地改良事業の市及び農家の負担について早期償還を図り、償還利息の軽減を図る。	A	B 内容の見直し	A
A	A 現状維持	理由 国営丹後土地改良事業の市及び農家の負担について早期償還を図り、償還利息の軽減を図る。					
A	B 内容の見直し						
A	C 統廃合・休止・終了						
改善	事業規模の方向性						
	<table border="1"> <tr> <td>B</td> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由 負担金の償還利息の軽減のため、繰上償還により早期償還を図ることが必要。</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	B	A 事業拡大	理由 負担金の償還利息の軽減のため、繰上償還により早期償還を図ることが必要。	B	B 現状維持	B
B	A 事業拡大	理由 負担金の償還利息の軽減のため、繰上償還により早期償還を図ることが必要。					
B	B 現状維持						
B	C 事業縮小						

平成22年度 事務事業評価

整理番号
2-30

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	06	01	12	03	01
細事業名		農村振興総合整備事業				

担当部局	農林水産環境部
担当課等	農林整備課
担当課長の氏名	森田 正二
担当者の氏名	増馬 孝之

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) I 交流経済都市 計画項目 (施策) ② 農林業の振興 施策方針 1-7 快適な農村生活環境の創造
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) ほ場整備により、農地を区画拡大し営農労力の削減、農業生産性の向上と農地の流動化による経営規模拡大を図る。併せて、創設する非農用地の有効活用により、地域住民の住居環境の改善に寄与する。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 事業工期(H16~H21)の最終年度であり、区画整理の換地処分業務を発注し、区画整理済みで湧水が激しいほ場の暗渠排水工事を地区内の農業用排水路を整備して事業完了した。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 湿田のほ場が、暗渠排水工事を実施することにより乾田化になり作付け可能になった。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入	
	節	金額(千円)	項目	名称 金額(千円)
財源内訳	7	114	国庫支出金	農村振興総合整備統 5,050
	11	61	府支出金	1,500
	13	945	起債	
	14	926	分担金・負担金	1,317
	15	8,238	その他	
	22	9,343		
事業費合計		19,627	一般財源	11,760
			合計	19,627

CHECK		
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか	
	○ 進捗している(できている)	理由 作付け不可能なほ場が乾田化によって作付け可能なほ場になった。
	○ ▲ 少し遅れている(少しできていない)	
	○ × 遅れている(できていない)	
効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか		
○ 削減の余地がなかった	理由 コスト縮減に努めたため削減の余地はなかった。	
○ ▲ 少し削減の余地があった		
○ × 削減の余地があった		

ACTION		
改善	事業内容の方向性	
	A 現状維持	理由 今年度最終年度で事業完了になった。
	C B 内容の見直し	
	C 統廃合・休止・終了	
	事業規模の方向性	
	A 事業拡大	理由
B 現状維持		
C 事業縮小		

平成22年度 事務事業評価

整理番号
2-31

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	06	01	12	03	01
細事業名		農村振興総合整備事業(繰越)				

担当部局	農林水産環境部
担当課等	農林整備課
担当課長の氏名	森田 正二
担当者の氏名	増馬 孝之

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) I 交流経済都市 計画項目 (施策) ② 農林業の振興 施策方針 1-7 快適な農村生活環境の創造
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) ほ場整備により、農地を区画拡大し営農労力の削減、農業生産性の向上と農地の流動化による経営規模拡大を図る。併せて、創設する非農用地の有効活用により、地域住民の住居環境の改善に寄与する。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 平成20年度に農業用排水路施設整備工事を発注したが、二次製品の納入に不測の日数が生じ、平成20年度内完了ができなかったため、繰越して施工した。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 地区内の農業用排水路を整備することにより大雨時等の排水がスムーズになった。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入	
	節	金額(千円)	項目	名称 金額(千円)
事業費合計	11	51	国庫支出金	農村振興総合整備統 2,390
	15	4,729	府支出金	711
			起債	
			分担金・負担金	663
			その他	
			一般財源	1,016
			合計	4,780
		4,780		

CHECK							
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか						
	<table border="1"> <tr> <td>○</td> <td>進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由 作付け不可能なほ場が乾田化によって作付け可能なほ場になった。</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○	進捗している(できている)	理由 作付け不可能なほ場が乾田化によって作付け可能なほ場になった。	○	▲ 少し遅れている(少しできていない)	○
○	進捗している(できている)	理由 作付け不可能なほ場が乾田化によって作付け可能なほ場になった。					
○	▲ 少し遅れている(少しできていない)						
○	× 遅れている(できていない)						
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか						
	<table border="1"> <tr> <td>○</td> <td>削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由 コスト縮減に努めたため削減の余地はなかった。</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○	削減の余地がなかった	理由 コスト縮減に努めたため削減の余地はなかった。	○	▲ 少し削減の余地があった	○
○	削減の余地がなかった	理由 コスト縮減に努めたため削減の余地はなかった。					
○	▲ 少し削減の余地があった						
○	× 削減の余地があった						

ACTION		
改善	事業内容の方向性	
	A 現状維持	理由 今年度最終年度で事業完了した。
	C B 内容の見直し	
	C 統廃合・休止・終了	
	事業規模の方向性	
	A 事業拡大	理由
B 現状維持		
C 事業縮小		

平成22年度 事務事業評価

整理番号
2-32

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	06	01	12	04	01
細事業名		ため池等農地災害危機管理対策事業				

担当部署	農林水産環境部
担当課等	農林整備課
担当課長の氏名	森田正二
担当者の氏名	増馬孝之

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) I 交流経済都市 計画項目 (施策) ② 農林業の振興 施策方針 1-7 快適な農村生活環境の創造
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 危険ため池の改良、ハザードマップ作成、危険水位予測システムの構築により、農業用水の安定的な確保と安全で快適な農村環境に資する。 事業の目的 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) ため池14箇所の農業用水の安定確保と安全・安心な農村環境を確保する。

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) ため池2箇所(十二社口池・家の奥池)の測量設計業務を実施。 ため池3箇所(新池・谷池・福井谷池)の改修工事を実施。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 危険ため池の改修により、農業生産性と地域防災の向上が図られるとともに、施設の保全に資することができた。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
財源内訳	9	22	国庫支出金		13,332
	11	573	府支出金		6,600
	12	201	起債		
	13	5,000	分担金・負担金		
	14	404	その他		
	15	20,476			
事業費合計		26,676	一般財源		6,744
			合計		26,676

CHECK					
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">計画的に、危険なため池の改修ができた。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	計画的に、危険なため池の改修ができた。	▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由	計画的に、危険なため池の改修ができた。			
▲ 少し遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)					
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">地元負担があるため、設計時点でコスト削減に向け検討した。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	地元負担があるため、設計時点でコスト削減に向け検討した。	▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由	地元負担があるため、設計時点でコスト削減に向け検討した。			
▲ 少し削減の余地があった					
× 削減の余地があった					

ACTION								
改善	事業内容の方向性							
	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">本事業が現状では農業生産性と地域防災の向上を図るために有効な手段と考えられる。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A	A 現状維持	理由	本事業が現状では農業生産性と地域防災の向上を図るために有効な手段と考えられる。		B 内容の見直し	
A	A 現状維持	理由	本事業が現状では農業生産性と地域防災の向上を図るために有効な手段と考えられる。					
	B 内容の見直し							
	C 統廃合・休止・終了							
改善	事業規模の方向性							
	<table border="1"> <tr> <td>B</td> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">現状の事業規模が農業生産性と地域防災の向上を図るためには適切な規模と考えられる。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	B	A 事業拡大	理由	現状の事業規模が農業生産性と地域防災の向上を図るためには適切な規模と考えられる。		B 現状維持	
B	A 事業拡大	理由	現状の事業規模が農業生産性と地域防災の向上を図るためには適切な規模と考えられる。					
	B 現状維持							
	C 事業縮小							

平成22年度 事務事業評価

整理番号
2-33

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	06	01	12	04	01
細事業名		ため池等農地災害危機管理対策事業(繰越)				

担当部局	農林水産環境部
担当課等	農林整備課
担当課長の氏名	森田正二
担当者の氏名	森岡利明

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) I 交流経済都市 計画項目 (施策) ② 農林業の振興 施策方針 1-7 快適な農村生活環境の創造
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 危険ため池の改良、ハザードマップ作成、危険水位予測システムの構築により、農業用水の安定的な確保と安全で快適な農村環境に資する。 事業の目的 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) ため池14箇所の農業用水の安定確保と安全・安心な農村環境を確保する。

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 平成20年度にため池1箇所(岩谷池)の下流水路改修工事を発注したが、民地と隣接して境界確定に不測の日数を要したため、平成21年度に繰越し施工を行った。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 危険ため池の改修により、農業生産性と地域防災の向上が図られるとともに、施設の保に資することができた。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
事業費合計	11	140	財源内訳	国庫支出金	2,470
	15	4,809		府支出金	1,200
				起債	
				分担金・負担金	
				その他	
				一般財源	1,279
				合計	4,949
	事業費合計	4,949		合計	4,949

CHECK						
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか					
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">計画的に危険ため池の改修ができた。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	計画的に危険ため池の改修ができた。	▲ 少し遅れている(少しできていない)	× 遅れている(できていない)
	○ 進捗している(できている)	理由			計画的に危険ため池の改修ができた。	
	▲ 少し遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)						
効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか						
<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">地元負担があるため、設計時点でコスト削減に向け検討した。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	地元負担があるため、設計時点でコスト削減に向け検討した。	▲ 少し削減の余地があった	× 削減の余地があった	
○ 削減の余地がなかった	理由			地元負担があるため、設計時点でコスト削減に向け検討した。		
▲ 少し削減の余地があった						
× 削減の余地があった						

ACTION			
改善	事業内容の方向性		
	A 現状維持	理由	本事業が現状では農業生産性と地域防災の向上を図るために有効な手段と考えられる。
	B 内容の見直し		
	C 統廃合・休止・終了		
	事業規模の方向性		
	B 現状維持	理由	現状の事業規模が農業生産性と地域防災の向上を図るためには適切な規模と考えられる。
A 事業拡大			
C 事業縮小			

平成22年度 事務事業評価

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	06	01	10	01	01
細事業名		小規模土地改良事業補助金				

担当部局	農林水産環境部
担当課等	農林整備課
担当課長の氏名	森田 正二
担当者の氏名	増馬孝之

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) I 交流経済都市 計画項目 (施策) ② 農林業の振興 施策方針 1-9 足腰の強い農業の基盤づくり
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 地元営による小規模土地改良事業に係る機械借上・原材料費を対象に、補助金による支援を行うことにより、農業用施設等の適正な維持管理と農地・農業用施設保全が図られる。 事業の目的 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 持続的な農業用施設等の保全(営農意欲の向上、集落機能の強化)を図る。

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 農業用施設(農道・水路・井堰・ため池等)の小規模な地元営による改修に要する、機械借上・原材料費に対して補助金による支援を行った。支援は49箇所に行った。上限30万円の支援(機械借上げ・原材料支給含む)
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 地元が直接施工することにより効率的に復旧ができた。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	19	6,808	国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		6,808
事業費合計		6,808	合計		6,808

CHECK					
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">地元への機械借上・原材料費の補助により短期間で事業実施され、早期に機能回復が図られた。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	地元への機械借上・原材料費の補助により短期間で事業実施され、早期に機能回復が図られた。	▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由	地元への機械借上・原材料費の補助により短期間で事業実施され、早期に機能回復が図られた。			
▲ 少し遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)					
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">地元要望に応えた事業であり、短時間で事業実施されコストも妥当である。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	地元要望に応えた事業であり、短時間で事業実施されコストも妥当である。	▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由	地元要望に応えた事業であり、短時間で事業実施されコストも妥当である。			
▲ 少し削減の余地があった					
× 削減の余地があった					

ACTION			
改善	事業内容の方向性		
	A 現状維持	理由	農業用施設等の小規模な改修等について、農業経営の安定と資源保全に資するため、地元と協働して維持管理を行なう必要があり現状を継続する。
	B 内容の見直し		
	C 統廃合・休止・終了		
	事業規模の方向性		
	B 現状維持	理由	集落・営農組合との協働により継続し事業実施を行う。
A 事業拡大			
C 事業縮小			

平成22年度 事務事業評価

整理番号
2-46

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	06	01	10	01	02
細事業名		小規模農業基盤整備事業				

担当部局	農林水産環境部
担当課等	農林整備課
担当課長の氏名	森田 正二
担当者の氏名	増馬孝之

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) I 交流経済都市 計画項目 (施策) ② 農林業の振興 施策方針 1-9 足腰の強い農業の基盤づくり
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 老朽化した農業用施設(農道・農業用排水路・取水施設)の小規模な改良・改修等により、施設等の機能回復と農業経営の安定に資する。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 農業用施設の小規模な補修・改良事業を行うことにより、農業生産性の向上と経営安定が図られるとともに、施設の保全に資する。

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 農業用施設(農道・農業用排水路・取水施設) 総事業費に対し7割補助・地元は3割負担
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 農業用施設の小規模な修繕・改良事業を行なうことにより、農業生産の向上と経営安定が図られるとともに、施設の保全に資する。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
事業費合計	11	300	財源内訳	国庫支出金	
	13	3,560		府支出金	
	14	403		起債	
	15	23,427		分担金・負担金	6,956
			その他		
			一般財源	20,734	
事業費合計		27,690	合計		27,690

CHECK								
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか							
	<table border="1"> <tr> <td>○</td> <td>進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">地元要望に対し単年度施工で事業実施され、早期に原状回復が図られた。</td> </tr> <tr> <td>▲</td> <td>少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>×</td> <td>遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○	進捗している(できている)	理由	地元要望に対し単年度施工で事業実施され、早期に原状回復が図られた。	▲	少し遅れている(少しできていない)	×
○	進捗している(できている)	理由	地元要望に対し単年度施工で事業実施され、早期に原状回復が図られた。					
▲	少し遅れている(少しできていない)							
×	遅れている(できていない)							
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか							
	<table border="1"> <tr> <td>○</td> <td>削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">地元要望に応えた事業であり、短時間で事業実施されコストも妥当である。</td> </tr> <tr> <td>▲</td> <td>少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>×</td> <td>削減の余地があった</td> </tr> </table>	○	削減の余地がなかった	理由	地元要望に応えた事業であり、短時間で事業実施されコストも妥当である。	▲	少し削減の余地があった	×
○	削減の余地がなかった	理由	地元要望に応えた事業であり、短時間で事業実施されコストも妥当である。					
▲	少し削減の余地があった							
×	削減の余地があった							

ACTION			
改善	事業内容の方向性		
	A 現状維持	理由	農業用施設等の小規模な改修等について、農業経営の安定と資源保全に資するため、地元と協働して維持管理を行なう必要があり現状を継続する。
	B 内容の見直し		
	C 統廃合・休止・終了		
	事業規模の方向性		
	B 現状維持	理由	集落・営農組合との協働により継続し事業実施を行う。
A 事業拡大			
C 事業縮小			

平成22年度 事務事業評価

整理番号
2-47

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	06	01	10	03	01
細事業名		土地改良区育成事業				

担当部局	農林水産環境部
担当課等	農林整備課
担当課長の氏名	森田 正二
担当者の氏名	増馬孝之

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) I 交流経済都市 計画項目 (施策) ② 農林業の振興 施策方針 1-9 足腰の強い農業の基盤づくり
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 府営及び団体営土地改良事業の推進組織である土地改良区等の運営経費の一部を助成することにより、土地改良区等の適正な事務事業の運営が図られる。 事業の目的 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 3土地改良区の適正な運営(土地改良事業の円滑な推進と施設の適正な維持管理) 海部土地改良区については、途中年度で解散予定

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 土地改良区の健全な運営、育成を行うための支援 河辺土地改良組合・宇川土地改良区・海部土地改良区の3組織に補助金を交付 河辺土地改良組合: 90,000円 (30%) 宇川土地改良区: 100,000円 (83%) 海部土地改良区: 1,200,000円 (35%)
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 土地改良区の適正な運営(土地改良事業の円滑な推進と施設の適正な維持管理等)

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	19	1,390	国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		1,390
事業費合計		1,390	合計		1,390

CHECK							
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか						
	<table border="1"> <tr> <td>○</td> <td>進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由 土地改良区(組合)の健全な事務事業運営が図られた。</td> </tr> <tr> <td>▲</td> <td>少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>×</td> <td>遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○	進捗している(できている)	理由 土地改良区(組合)の健全な事務事業運営が図られた。	▲	少し遅れている(少しできていない)	×
○	進捗している(できている)	理由 土地改良区(組合)の健全な事務事業運営が図られた。					
▲	少し遅れている(少しできていない)						
×	遅れている(できていない)						
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか						
	<table border="1"> <tr> <td>○</td> <td>削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由 土地改良区(組合)の適正な事務事業の実施及び事業で整備した施設の維持管理が図られるために、必要な経費である。</td> </tr> <tr> <td>▲</td> <td>少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>×</td> <td>削減の余地があった</td> </tr> </table>	○	削減の余地がなかった	理由 土地改良区(組合)の適正な事務事業の実施及び事業で整備した施設の維持管理が図られるために、必要な経費である。	▲	少し削減の余地があった	×
○	削減の余地がなかった	理由 土地改良区(組合)の適正な事務事業の実施及び事業で整備した施設の維持管理が図られるために、必要な経費である。					
▲	少し削減の余地があった						
×	削減の余地があった						

ACTION							
改善	事業内容の方向性						
	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由 土地改良事業の計画的な執行、土地改良施設の適正な維持管理のため、土地改良区の運営経費の一部支援は必要である。</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A	A 現状維持	理由 土地改良事業の計画的な執行、土地改良施設の適正な維持管理のため、土地改良区の運営経費の一部支援は必要である。	B	B 内容の見直し	C
A	A 現状維持	理由 土地改良事業の計画的な執行、土地改良施設の適正な維持管理のため、土地改良区の運営経費の一部支援は必要である。					
B	B 内容の見直し						
C	C 統廃合・休止・終了						
改善	事業規模の方向性						
	<table border="1"> <tr> <td>B</td> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由 土地改良事業の計画的な執行、土地改良施設の適正な維持管理のため、土地改良区の運営経費に見合った支援が必要である。</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	B	A 事業拡大	理由 土地改良事業の計画的な執行、土地改良施設の適正な維持管理のため、土地改良区の運営経費に見合った支援が必要である。	B	B 現状維持	C
B	A 事業拡大	理由 土地改良事業の計画的な執行、土地改良施設の適正な維持管理のため、土地改良区の運営経費に見合った支援が必要である。					
B	B 現状維持						
C	C 事業縮小						

平成22年度 事務事業評価

整理番号
2-48

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	06	01	10	05	01
細事業名		換地処理事業				

担当部局	農林水産環境部
担当課等	農林整備課
担当課長の氏名	森田 正二
担当者の氏名	足達 和則

総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策)	I 交流経済都市		
	計画項目 (施策)	② 農林業の振興		
	施策方針	1-9 足腰の強い農業の基盤づくり		
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか)	旧弥栄町で行われた土地改良事業において、換地処分がされないまま遅延地区となり、現況の土地を特定できない状況にあるため、換地処分を行い土地の確定を行う。	平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)	換地遅延地区の4工区について、換地処分を行い、登記を完了する。

平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか)	遅延地区の2工区分について、確定測量により、基準点の設置と京都府道、2級河川の境界立会を実施し、地区境界を確定した。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入)	2工区分について、地区の境界を確定することができた。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	11	11	国庫支出金		
	13	6,990	府支出金	地域課題対応型ふる	4,200
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		2,801
事業費合計		7,001	合計		7,001

評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか	
	▲	理由 平成21年度で4工区の確定測量を行う予定であったが、予定していなかった基準点測量が必要となったため、2工区しかできなかった。
	○	理由 コスト削減をする方向で積算し4工区の確定測量の予算を組んでいたが、基準点測量が必要となり、事業費が膨らんでしまいコスト削減ならなかった。
	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか	

改善	事業内容の方向性	
	A	理由 換地遅延地区の解消には、換地処理事業により、確定測量、換地処分が必要であり、現状維持すべきである。
	B	
	C	
	事業規模の方向性	
	B	理由 換地遅延地区の4工区の解消には、現在の事業規模が必要である。

平成22年度 事務事業評価

整理番号
2-49

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	06	01	10	06	02
細事業名		農業生産基盤整備事業				

担当部局	農林水産環境部
担当課等	農林整備課
担当課長の氏名	森田 正二
担当者の氏名	松山 正

総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策)	I 交流経済都市			
	計画項目 (施策)	② 農林業の振興			
	施策方針	1-9 足腰の強い農業の基盤づくり			
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか)	過疎・高齢化集落を含む農村地域の複数集落が連携して設立する「地域連携組織」が策定した「里力再生計画」に基づく農業生産基盤の整備・保全等を支援することにより、農村地域の再生を図る。	平成26年度事業の効果目標	(平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)	農業生産基盤の整備・保全による維持管理労力の軽減

平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか)	過疎化・高齢化を含む複数集落の地域連携組織として、宇川地域、五十河地域で実施。 【五十河地域】アスファルト舗装、農業用排水路目地補修 【宇川地域】農道コンクリート舗装、獣害防護フェンス設置、用排水路改修、揚水ポンプ改修
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入)	農業基盤の改善により維持管理等労力の軽減が図られた。 獣害防護フェンスの設置により農作物への被害が軽減

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入	
	節	金額(千円)	項目	名称 金額(千円)
	11	388	国庫支出金	
	13	1,944	府支出金	共に育む命の里事業 13,400
	14	168	起債	
	15	15,238	分担金・負担金	
	16	2,375	その他	
			一般財源	6,713
事業費合計		20,113	合計	20,113

評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか	
	○	理由 平成21年度において、地域から挙がってきた要望について、滞りなく事業が実施できた。
	○	理由 市が事業主体の場合は、入札等によって費用の削減に努めている。
	○	理由 市内の過疎化・高齢化集落の増加が見込まれるため

改善	事業内容の方向性	
	A	理由 過疎化・高齢化集落対策のため、引き続き事業を実施していく必要があるため。
	A	理由 市内の過疎化・高齢化集落の増加が見込まれるため

平成22年度 事務事業評価

整理番号
2-50

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	06	01	11	04	01
細事業名		農業生産法人等育成緊急整備事業				

担当部局	農林水産環境部
担当課等	農林整備課
担当課長の氏名	森田 正二
担当者の氏名	足達 和則

総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策)	I 交流経済都市		
	計画項目 (施策)	② 農林業の振興		
	施策方針	1-9 足腰の強い農業の基盤づくり		
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか)	大区画のほ場整備により、農用地の集団化と集積率を高めるとともに、農業生産法人による営農により効率的・集約的な農業の展開を図る。	平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)	ほ場整備工事により、38.7haの農地を整備し、農業生産法人への農地の集積を、75%以上とする。

平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか)	府営土地改良事業の実施に係る事業費の一部を「地方公共団体の負担割合の指針」に基づき負担する。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入)	18.7haのほ場整備の区画が完成

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	7	728	国庫支出金		
	11	7	府支出金	換地業務委託金	2,130
	13	1,396	起債		
	19	27,485	分担金・負担金	農業生産法人等育成	8,134
			その他		
			一般財源		19,352
事業費合計		29,616	合計		29,616

評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか		
	○	<input type="radio"/> 進捗している(できている) <input checked="" type="radio"/> 少し遅れている(少しできていない) <input type="radio"/> 遅れている(できていない)	理由 平成21年度に予定していた18.7haのほ場整備が完成した。
	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか		
	○	<input type="radio"/> 削減の余地がなかった <input checked="" type="radio"/> 少し削減の余地があった <input type="radio"/> 削減の余地があった	理由 府営土地改良事業のため、市として削減の余地はない。

改善	事業内容の方向性		
	A	<input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 内容の見直し <input type="radio"/> 統廃合・休止・終了	理由 国の予算配分により、事業完了に向けて進んでいく。
	事業規模の方向性		
	B	<input type="radio"/> 事業拡大 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 事業縮小	理由 計画の38.7haのほ場整備工事の完成に向けて事業を進めていく。

平成22年度 事務事業評価

整理番号
2-51

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	06	01	12	02	01
細事業名		土地改良施設維持管理適正化事業				

担当部局	農林水産環境部
担当課等	農林整備課
担当課長の氏名	森田 正二
担当者の氏名	井上 辰也

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) I 交流経済都市 計画項目 (施策) ② 農林業の振興 施策方針 1-9 足腰の強い農業の基盤づくり
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 施設の機能回復により、農業用施設の長期保全と持続的な農業経営の安定を図る。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 適正化事業加入件数 5件 改修工事の実施 5箇所 土地改良施設診断指導 50箇所

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 市内の土地改良施設を対象に、新規事業加入と改修工事の実施、土地改良施設診断指導を行った。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 老朽化した施設について、事業新規加入を1件行うことにより、計画的な整備が可能となった。施設の改修工事を2箇所実施し、延命化による長期有効利用が可能となった。施設の診断指導を12箇所行い、適正な維持管理と事業加入の検討を行うことができた。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	11	77	財源内訳	国庫支出金	
	15	9,924		府支出金	
	19	1,584		起債	
			分担金・負担金	土地改良施設維持管	845
			その他	土地改良施設維持管理適正化事業費	9,000
			一般財源		1,740
事業費合計		11,585	合計		11,585

CHECK								
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか							
	<table border="1"> <tr> <td>▲</td> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">適正な維持管理を目的に、事業加入5年以内に整備補修を行う事業であり、市内の施設状況から、常に5件(整備1箇所/年)以上の加入を目標とするが、現在の加入予定は4件となっている。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	▲	○ 進捗している(できている)	理由	適正な維持管理を目的に、事業加入5年以内に整備補修を行う事業であり、市内の施設状況から、常に5件(整備1箇所/年)以上の加入を目標とするが、現在の加入予定は4件となっている。		▲ 少し遅れている(少しできていない)	
▲	○ 進捗している(できている)	理由	適正な維持管理を目的に、事業加入5年以内に整備補修を行う事業であり、市内の施設状況から、常に5件(整備1箇所/年)以上の加入を目標とするが、現在の加入予定は4件となっている。					
	▲ 少し遅れている(少しできていない)							
	× 遅れている(できていない)							
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか							
	<table border="1"> <tr> <td>○</td> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">改修工事の発注時に、加入当時の計画設計の工法・単価ともに見直すことにより適正な工事費積算を行っている。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td></td> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○	○ 削減の余地がなかった	理由	改修工事の発注時に、加入当時の計画設計の工法・単価ともに見直すことにより適正な工事費積算を行っている。		▲ 少し削減の余地があった	
○	○ 削減の余地がなかった	理由	改修工事の発注時に、加入当時の計画設計の工法・単価ともに見直すことにより適正な工事費積算を行っている。					
	▲ 少し削減の余地があった							
	× 削減の余地があった							

ACTION								
改善	事業内容の方向性							
	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">土地改良施設の機能低下の防止や機能回復を行い、適正な維持管理と施設の延命化を図ることができる非常に有効な事業である。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A	A 現状維持	理由	土地改良施設の機能低下の防止や機能回復を行い、適正な維持管理と施設の延命化を図ることができる非常に有効な事業である。		B 内容の見直し	
A	A 現状維持	理由	土地改良施設の機能低下の防止や機能回復を行い、適正な維持管理と施設の延命化を図ることができる非常に有効な事業である。					
	B 内容の見直し							
	C 統廃合・休止・終了							
改善	事業規模の方向性							
	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">老朽化した施設を解体・新設する(スクラップ&ビルド)だけでなく、既存施設を有効活用して延命化を図ること(ストックマネジメント)が求められているため、当事業を積極的に取り入れていく必要がある。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	A	A 事業拡大	理由	老朽化した施設を解体・新設する(スクラップ&ビルド)だけでなく、既存施設を有効活用して延命化を図ること(ストックマネジメント)が求められているため、当事業を積極的に取り入れていく必要がある。		B 現状維持	
A	A 事業拡大	理由	老朽化した施設を解体・新設する(スクラップ&ビルド)だけでなく、既存施設を有効活用して延命化を図ること(ストックマネジメント)が求められているため、当事業を積極的に取り入れていく必要がある。					
	B 現状維持							
	C 事業縮小							

平成22年度 事務事業評価

整理番号
2-52

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	06	01	12	06	01
細事業名		団体営調査設計事業				

担当部局	農林水産環境部
担当課等	農林整備課
担当課長の氏名	森田 正二
担当者の氏名	松山 正

総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策)	I 交流経済都市
	計画項目 (施策)	② 農林業の振興
	施策方針	1-9 足腰の強い農業の基盤づくり

事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 荒廃している土羽水路の改修及び耐用年数の経過したポンプの改修を行い、維持管理労力の軽減、農業経営の安定を図る整備を行う為の調査を行う。	平成26年度事業の効果目標	(平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)	改修された施設により経営及び生産基盤の安定を図ると共に、維持管理の軽減が行なえる。
-------	---	---------------	---------------------------------------	---

平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか)	弥栄町吉沢地区において荒廃している土羽水路の改修及び耐用年数の経過したポンプの改修を行い、維持管理労力の軽減、農業経営の安定を図る整備を行う為の調査設計に係る負担金を京都府土地改良事業団体連合会へ支出。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入)	補助制度を活用した事業化へ向け調査を行った。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	19	2,940	国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		2,940
事業費合計		2,940	合計		2,940

評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか	
	○	進捗している(できている)
	○	▲ 少し遅れている(少しできていない) 理由 水路やポンプ改修に向けた調査設計が出来た。
	○	× 遅れている(できていない)
効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか		
○	削減の余地がなかった	
○	▲ 少し削減の余地があった 理由 京都府土地改良事業団体連合会により調査設計業務が行なわれ、地元負担金(京丹後市)の削減の余地はなかった。	
○	× 削減の余地があった	

改善	事業内容の方向性		
	C	A 現状維持	理由
		B 内容の見直し	
		C 統廃合・休止・終了	
	事業規模の方向性		
	C	A 事業拡大	理由
B 現状維持			
C 事業縮小			

平成22年度 事務事業評価

整理番号
2-53

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	06	01	12	07	01
細事業名		農地有効利用支援整備事業				

担当部局	農林水産環境部
担当課等	農林整備課
担当課長の氏名	森田 正二
担当者の氏名	松山 正

総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策)	I 交流経済都市		
	計画項目 (施策)	② 農林業の振興		
	施策方針	1-9 足腰の強い農業の基盤づくり		
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか)	農業用水利施設等の老朽化により営農を継続することが困難と見込まれる場合、耕作放棄地の発生を未然に防止する観点から、土地改良施設の更新整備や補修、農地の改善を図る。	平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)	改修された農地・土地改良施設により経営及び生産基盤の安定が図られる。

平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか)	丹後土地改良区、海部土地改良区、鹿野・葛野地区の受益地を対象とし、農地や施設の改修等を行った。 暗渠排水24箇所、農道舗装10箇所、揚水ポンプ改修3箇所、井堰改修・送水管補修・客土・農道砂利補修・用排水路補修・かご枠工 各1箇所 合計43箇所
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入)	改修等工事により土地改良施設維持管理の省力化、耕作困難地の解消が図れた。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入			
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)	
事業費合計	11	443	財源内訳	国庫支出金		
	15	21,333		府支出金		
	16	648		起債		
				分担金・負担金	農地有効利用支援整	1,347
				その他	農地有効利用支援整	19,019
				一般財源		2,058
事業費合計		22,424	合計		22,424	

評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか		
	○	○ 進捗している(できている)	理由 耕作困難地の解消が図れた。
		▲ 少し遅れている(少しできていない)	
		× 遅れている(できていない)	
効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか			
○	○ 削減の余地がなかった	理由 国府併せ85%補助事業を用い、耕作放棄地を未然に防止することにより優良農地の維持が確保できた。	
	▲ 少し削減の余地があった		
	× 削減の余地があった		

改善	事業内容の方向性		
	C	A 現状維持	理由 21年度で終了
		B 内容の見直し	
		C 統廃合・休止・終了	
	事業規模の方向性		
	C	A 事業拡大	理由 21年度で終了
B 現状維持			
C 事業縮小			

平成22年度 事務事業評価

整理番号
2-54

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	06	02	01	07	01
細事業名		有害鳥獣捕獲事業				

担当部局	農林水産環境部
担当課等	農林整備課
担当課長の氏名	森田 正二
担当者の氏名	小西 晋哉

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) I 交流経済都市 計画項目 (施策) ② 農林業の振興 施策方針 1-9 足腰の強い農業の基盤づくり
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 鳥獣害対策として、有害鳥獣捕獲を行う。 事業の目的 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 鳥獣害の減少(H19被害額から2割減少)

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 有害鳥獣捕獲を実施 イノシシ1,126頭、シカ1,093頭、サル13頭、タヌキ等183頭、鳥類262羽 狩猟免許取得奨励 捕獲班員確保のため、新規狩猟免許取得者に取得経費の補助 H21年度 11名
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 鳥獣害拡大の防止 捕獲班員6名増加(H20 125名からH21 131名)

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	9	35	国庫支出金		
	11	530	府支出金	有害鳥獣捕獲関係事	3,147
	13	22,067	起債		
	19	37	分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		19,522
事業費合計		22,669	合計		22,669

CHECK				
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか			
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由 近年の有害鳥獣捕獲頭数、捕獲班員数とも増加している。</td> </tr> <tr> <td>○ ▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>○ × 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由 近年の有害鳥獣捕獲頭数、捕獲班員数とも増加している。	○ ▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由 近年の有害鳥獣捕獲頭数、捕獲班員数とも増加している。			
○ ▲ 少し遅れている(少しできていない)				
○ × 遅れている(できていない)				
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか			
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由 鳥獣被害を抑止するための有害鳥獣捕獲(個体数調整)は、有効な対策であり、被害が拡大傾向にある現状においては、さらなる捕獲頭数の増加を目指す必要がある。コストを削減することはできない。</td> </tr> <tr> <td>○ ▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>○ × 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由 鳥獣被害を抑止するための有害鳥獣捕獲(個体数調整)は、有効な対策であり、被害が拡大傾向にある現状においては、さらなる捕獲頭数の増加を目指す必要がある。コストを削減することはできない。	○ ▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由 鳥獣被害を抑止するための有害鳥獣捕獲(個体数調整)は、有効な対策であり、被害が拡大傾向にある現状においては、さらなる捕獲頭数の増加を目指す必要がある。コストを削減することはできない。			
○ ▲ 少し削減の余地があった				
○ × 削減の余地があった				

ACTION		
改善	事業内容の方向性	
	A 現状維持	理由 有害鳥獣捕獲は持続的に行うことで、個体数管理が図れる。
	B 内容の見直し	
	C 統廃合・休止・終了	
	事業規模の方向性	
	A 事業拡大	理由 捕獲班員の高齢化により、組織が弱体化する恐れがある。今後は後継者育成を強化する必要がある。
B 現状維持		
C 事業縮小		

平成22年度 事務事業評価

整理番号
2-55

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	06	02	01	07	02
細事業名		有害鳥獣防除施設設置事業				

担当部局	農林水産環境部
担当課等	農林整備課
担当課長の氏名	森田 正二
担当者の氏名	小西 晋哉

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) I 交流経済都市 計画項目 (施策) ② 農林業の振興 施策方針 1-9 足腰の強い農業の基盤づくり
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 鳥獣害対策として、農林業団体が設置する電気柵・金網柵等防除施設に対し補助する。 事業の目的 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 鳥獣害の減少(H19被害額から2割減少)

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 鳥獣害を防止するための施設設置費(資材費)に対し補助する。(補助率7/10) 59団体(総延長74km)に対し、22,998千円補助(事業費38,505千円)
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 鳥獣害拡大の防止

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	19	22,998	国庫支出金		
			府支出金	有害鳥獣防除施設設置	16,660
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		6,338
事業費合計		22,998	合計		22,998

CHECK					
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">防除施設を設置し、適切な管理を行う集落では、鳥獣被害は減少している。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	防除施設を設置し、適切な管理を行う集落では、鳥獣被害は減少している。	▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由	防除施設を設置し、適切な管理を行う集落では、鳥獣被害は減少している。			
▲ 少し遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)					
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">鳥獣被害は、農家に原因があるわけではなく、農家にとっては災害といえる。災害復旧事業の地元分担金(補助残の2/10)と比べ、当事業の地元負担金は3/10(補助率7/10)であり、補助率が高額であるとはいえない。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	鳥獣被害は、農家に原因があるわけではなく、農家にとっては災害といえる。災害復旧事業の地元分担金(補助残の2/10)と比べ、当事業の地元負担金は3/10(補助率7/10)であり、補助率が高額であるとはいえない。	▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由	鳥獣被害は、農家に原因があるわけではなく、農家にとっては災害といえる。災害復旧事業の地元分担金(補助残の2/10)と比べ、当事業の地元負担金は3/10(補助率7/10)であり、補助率が高額であるとはいえない。			
▲ 少し削減の余地があった					
× 削減の余地があった					

ACTION								
改善	事業内容の方向性							
	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">鳥獣被害の軽減を図るためには防除施設の設置は必要不可欠である。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A	A 現状維持	理由	鳥獣被害の軽減を図るためには防除施設の設置は必要不可欠である。		B 内容の見直し	
A	A 現状維持	理由	鳥獣被害の軽減を図るためには防除施設の設置は必要不可欠である。					
	B 内容の見直し							
	C 統廃合・休止・終了							
改善	事業規模の方向性							
	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">被害地域は拡大しており、防除施設の設置要望も増加している。被害の軽減を図るために必要な施設であり、補助率も妥当といえる。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	A	A 事業拡大	理由	被害地域は拡大しており、防除施設の設置要望も増加している。被害の軽減を図るために必要な施設であり、補助率も妥当といえる。		B 現状維持	
A	A 事業拡大	理由	被害地域は拡大しており、防除施設の設置要望も増加している。被害の軽減を図るために必要な施設であり、補助率も妥当といえる。					
	B 現状維持							
	C 事業縮小							

平成22年度 事務事業評価

整理番号
2-56

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	06	02	01	07	03
細事業名		獣害等防止特別対策実験実証事業				

担当部局	農林水産環境部
担当課等	農林整備課
担当課長の氏名	森田 正二
担当者の氏名	小西 晋哉

PLAN							
総合計画 (前期基本計画)	<table border="1"> <tr> <td>基本方針 (政策)</td> <td>I 交流経済都市</td> </tr> <tr> <td>計画項目 (施策)</td> <td>② 農林業の振興</td> </tr> <tr> <td>施策方針</td> <td>1-9 足腰の強い農業の基盤づくり</td> </tr> </table>	基本方針 (政策)	I 交流経済都市	計画項目 (施策)	② 農林業の振興	施策方針	1-9 足腰の強い農業の基盤づくり
基本方針 (政策)	I 交流経済都市						
計画項目 (施策)	② 農林業の振興						
施策方針	1-9 足腰の強い農業の基盤づくり						
事業の目的	<table border="1"> <tr> <td>(どのような目的で事業を実施するか)</td> <td>近年増加傾向にある耕作放棄地の発生や、拡大傾向にある鳥獣被害対策の一環として、畜産農家と地域住民が連携し、耕作放棄地等に牛を放牧するために必要な経費を補助する。</td> <td>平成26年度事業の効果目標</td> <td>(平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)</td> <td>鳥獣害の減少(H19被害額から2割減少)</td> </tr> </table>	(どのような目的で事業を実施するか)	近年増加傾向にある耕作放棄地の発生や、拡大傾向にある鳥獣被害対策の一環として、畜産農家と地域住民が連携し、耕作放棄地等に牛を放牧するために必要な経費を補助する。	平成26年度事業の効果目標	(平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)	鳥獣害の減少(H19被害額から2割減少)	
(どのような目的で事業を実施するか)	近年増加傾向にある耕作放棄地の発生や、拡大傾向にある鳥獣被害対策の一環として、畜産農家と地域住民が連携し、耕作放棄地等に牛を放牧するために必要な経費を補助する。	平成26年度事業の効果目標	(平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)	鳥獣害の減少(H19被害額から2割減少)			

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 近年増加傾向にある耕作放棄地の発生や、拡大傾向にある鳥獣被害対策の一環として、畜産農家と地域住民が連携し、耕作放棄地等に牛を放牧するために必要な経費を補助する。当事業の補助金額は、府要綱で「1地区100千円」と定められている。久美浜町佐野地区で実施
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 鳥獣害拡大の防止 耕作放棄地の解消

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入	
	節	金額(千円)	項目	金額(千円)
	19	100	国庫支出金	
			府支出金	100
			起債	
			分担金・負担金	
			その他	
			一般財源	0
事業費合計		100	合計	100

CHECK						
評価	<p>目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか</p> <table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">牛の放牧により、耕作放棄された農地が管理され、鳥獣の進入を防いでいる。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	牛の放牧により、耕作放棄された農地が管理され、鳥獣の進入を防いでいる。	▲ 少し遅れている(少しできていない)	× 遅れている(できていない)
	○ 進捗している(できている)	理由			牛の放牧により、耕作放棄された農地が管理され、鳥獣の進入を防いでいる。	
▲ 少し遅れている(少しできていない)						
× 遅れている(できていない)						
<p>効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか</p> <table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">当事業の補助金額は、府要綱で「1地区100千円」と定められており、削減の余地はなかった。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	当事業の補助金額は、府要綱で「1地区100千円」と定められており、削減の余地はなかった。	▲ 少し削減の余地があった	× 削減の余地があった	
○ 削減の余地がなかった	理由			当事業の補助金額は、府要綱で「1地区100千円」と定められており、削減の余地はなかった。		
▲ 少し削減の余地があった						
× 削減の余地があった						

ACTION				
改善	事業内容の方向性			
	A	A 現状維持	理由	事業効果が得られているため、今後も継続する。
		B 内容の見直し		
		C 統廃合・休止・終了		
	事業規模の方向性			
	A	A 事業拡大	理由	防除対策に役立てるための講演会の開催等、農家自らが行える防除対策を支援する。
	B 現状維持			
	C 事業縮小			

平成22年度 事務事業評価

整理番号
2-57

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	06	02	01	07	04
細事業名		鳥獣被害防止対策推進事業				

担当部局	農林水産環境部
担当課等	農林整備課
担当課長の氏名	森田 正二
担当者の氏名	小西 晋哉

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) I 交流経済都市 計画項目 (施策) ② 農林業の振興 施策方針 1-9 足腰の強い農業の基盤づくり
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 身近なたんばく源である獣肉、特に猪・鹿肉について地域資源として、猟友会と協力し、食肉利用の推進を図る。 事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 猪、鹿肉の食肉利用の推進と、消費拡大を図るために、市、府、猟友会等と組織する「京丹後市猪・鹿肉有効活用研究会」に対し補助を行う。(補助率10/10)
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 猪、鹿肉の利用促進、消費拡大

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入	
	節	金額(千円)	項目	金額(千円)
	19	500	国庫支出金	
			府支出金	新山村振興等農林漁 250
			起債	
			分担金・負担金	
			その他	
			一般財源	250
事業費合計		500	合計	500

CHECK					
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">猪、鹿肉の食肉利用を推進することで、市が運営する食肉処理施設の販路獲得につなげた。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	猪、鹿肉の食肉利用を推進することで、市が運営する食肉処理施設の販路獲得につなげた。	▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由	猪、鹿肉の食肉利用を推進することで、市が運営する食肉処理施設の販路獲得につなげた。			
▲ 少し遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)					
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">他団体が開催する集客力のあるイベントに参加することで、効率的に猪、鹿肉のPRを行いコストの削減に努めている。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	他団体が開催する集客力のあるイベントに参加することで、効率的に猪、鹿肉のPRを行いコストの削減に努めている。	▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由	他団体が開催する集客力のあるイベントに参加することで、効率的に猪、鹿肉のPRを行いコストの削減に努めている。			
▲ 少し削減の余地があった					
× 削減の余地があった					

ACTION					
改善	事業内容の方向性				
	<table border="1"> <tr> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">平成21年度に食肉処理施設が建設され、22年度から運営(販売)が始まることから、PR活動は施設運営者が引き継ぎ行う。</td> </tr> <tr> <td>C B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td>C 統廃合・休止</td> </tr> </table>	A 現状維持	理由	平成21年度に食肉処理施設が建設され、22年度から運営(販売)が始まることから、PR活動は施設運営者が引き継ぎ行う。	C B 内容の見直し
A 現状維持	理由	平成21年度に食肉処理施設が建設され、22年度から運営(販売)が始まることから、PR活動は施設運営者が引き継ぎ行う。			
C B 内容の見直し					
C 統廃合・休止					
改善	事業規模の方向性				
	<table border="1"> <tr> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">平成21年度に食肉処理施設が建設され、22年度から運営(販売)が始まることから、PR活動は施設運営者が引き継ぎ行う。</td> </tr> <tr> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	A 事業拡大	理由	平成21年度に食肉処理施設が建設され、22年度から運営(販売)が始まることから、PR活動は施設運営者が引き継ぎ行う。	B 現状維持
A 事業拡大	理由	平成21年度に食肉処理施設が建設され、22年度から運営(販売)が始まることから、PR活動は施設運営者が引き継ぎ行う。			
B 現状維持					
C 事業縮小					

平成22年度 事務事業評価

整理番号
2-58

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	06	02	01	07	05
細事業名		猪・鹿肉処理施設整備事業				

担当部局	農林水産環境部
担当課等	農林整備課
担当課長の氏名	森田 正二
担当者の氏名	堀 弥壽彦

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) I 交流経済都市 計画項目 (施策) ② 農林業の振興 施策方針 1-9 足腰の強い農業の基盤づくり
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 有害鳥獣として捕獲した猪・鹿については、その大半を埋設処理している。その埋設処理している猪・鹿を地域資源として有効活用し、観光客の誘致や地域振興を図る目的で猪・鹿肉処理施設を建設した。 事業の目的 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 市内、各支部猟友会会員の猪・鹿個体埋設処理作業の負担軽減。

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 「京たんご ぼたん・もみじ比治の里」の延床面積は、192.78㎡で、猪・鹿をそれぞれ別々に処理することができる二系統から出ています。年間最大計画処理頭数は894頭であるが、初年度の22年度は、1日1頭の360頭を予定しています。捕獲した猪や鹿のほとんどは埋設処理をしていますが、捕獲頭数の増加や猟友会会員の高齢化に伴い捕獲個体の処理が大きな課題となってきた。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 市内、各支部猟友会会員の猪・鹿個体埋設処理作業の負担軽減。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
財源内訳	9	10	国庫支出金	新山村振興等農林漁	13,500
	11	500	府支出金	新山村振興等農林漁	1,350
	12	95	起債	過疎債	56,200
	13	2,131	分担金・負担金		
	14	44	その他		
	15	65,399			
	18	6,339	一般財源		3,468
事業費合計		74,518	合計		74,518

CHECK					
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">当面、年間処理頭数は、1日1頭の360頭を予定していますが、将来的には、年間最大計画処理頭数894頭を目標とする。</td> </tr> <tr> <td>○ ▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>○ × 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	当面、年間処理頭数は、1日1頭の360頭を予定していますが、将来的には、年間最大計画処理頭数894頭を目標とする。	○ ▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由	当面、年間処理頭数は、1日1頭の360頭を予定していますが、将来的には、年間最大計画処理頭数894頭を目標とする。			
○ ▲ 少し遅れている(少しできていない)					
○ × 遅れている(できていない)					
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">施設整備にあたり、必要最低限の設備にした。</td> </tr> <tr> <td>○ ▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>○ × 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	施設整備にあたり、必要最低限の設備にした。	○ ▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由	施設整備にあたり、必要最低限の設備にした。			
○ ▲ 少し削減の余地があった					
○ × 削減の余地があった					

ACTION			
改善	事業内容の方向性		
	A 現状維持	理由	猪・鹿の個体搬入状況等により考えていく。
	B 内容の見直し		
	C 統廃合・休止・終了		
	事業規模の方向性		
	B 現状維持	理由	当面、現状を見て判断する。
A 事業拡大			
C 事業縮小			

平成22年度 事務事業評価

整理番号
2-59

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	06	02	01	07	05
細事業名		猪・鹿肉処理施設整備事業				

担当部局	農林水産環境部
担当課等	農林整備課
担当課長の氏名	森田 正二
担当者の氏名	堀 弥壽彦

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) I 交流経済都市 計画項目 (施策) ② 農林業の振興 施策方針 1-9 足腰の強い農業の基盤づくり
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 有害鳥獣として捕獲した猪・鹿については、その大半を埋設処理している。その埋設処理している猪・鹿を地域資源として有効活用し、観光客の誘致や地域振興を図る目的で猪・鹿肉処理施設を建設した。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 市内、各支部猟友会会員の猪・鹿個体埋設処理作業の負担軽減。

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 「京たんご ぼたん・もみじ比治の里」の延床面積は、192.78㎡で、猪・鹿をそれぞれ別々に処理することができる二系統から出ています。年間最大計画処理頭数は894頭であるが、初年度の22年度は、1日1頭の360頭を予定しています。捕獲した猪や鹿のほとんどは埋設処理をしていますが、捕獲頭数の増加や猟友会会員の高齢化に伴い捕獲個体の処理が大きな課題となってきた。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 市内、各支部猟友会会員の猪・鹿個体埋設処理作業の負担軽減。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入			
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)	
予算科目	11	195	財源内訳	国庫支出金	新山村振興等農林漁	2,880
	12	31		府支出金	新山村振興等農林漁	288
	13	4,385		起債	過疎債	2,500
	15	1,149		分担金・負担金		
		その他				
事業費合計		5,760	一般財源		92	
			合計		5,760	

CHECK					
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">当面、年間処理頭数は、1日1頭の360頭を予定していますが、将来的には、年間最大計画処理頭数894頭を目標とする。</td> </tr> <tr> <td>○ ▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>○ × 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	当面、年間処理頭数は、1日1頭の360頭を予定していますが、将来的には、年間最大計画処理頭数894頭を目標とする。	○ ▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由	当面、年間処理頭数は、1日1頭の360頭を予定していますが、将来的には、年間最大計画処理頭数894頭を目標とする。			
○ ▲ 少し遅れている(少しできていない)					
○ × 遅れている(できていない)					
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">施設整備にあたり、必要最低限の設備にした。</td> </tr> <tr> <td>○ ▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>○ × 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	施設整備にあたり、必要最低限の設備にした。	○ ▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由	施設整備にあたり、必要最低限の設備にした。			
○ ▲ 少し削減の余地があった					
○ × 削減の余地があった					

ACTION			
改善	事業内容の方向性		
	A 現状維持	理由	猪・鹿の個体搬入状況等により考えていく。
	A B 内容の見直し		
	A C 統廃合・休止・終了		
	事業規模の方向性		
	B 事業拡大	理由	当面、現状を見て判断する。
B 現状維持			
B C 事業縮小			

平成22年度 事務事業評価

整理番号
3-1

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	06	02	01	01	02
細事業名		森林適正整備推進事業				

担当部局	農林水産環境部
担当課等	農林整備課
担当課長の氏名	森田 正二
担当者の氏名	梅田 利通

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) I 交流経済都市 計画項目 (施策) ② 農林業の振興 施策方針 2-1 森林保育の推進
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 京都府独自の補助事業であり、森林整備事業補助金の対象外である民有林及び市行造林地の高齢級林の間伐を行う。 事業の目的 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 手入れの遅れた高齢級人工林の間伐を行うことにより森林の機能回復を図り、地球温暖化防止に貢献する。

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 森林整備事業補助金の対象外である市行造林地の高齢級林(36年生以上60年生以下)の間伐及び丹後地区森林組合が森林所有者から委託契約した間伐事業に対し補助金を支給(事業内容:間伐、事業量 29.59ha)
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 二酸化炭素の吸収及び固定、土砂の流出防止、水源涵養機能等森林の有す公益的機能良好な発揮を図った。(間伐4地区A=13.8ha)

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
事業費合計	15	3,027	国庫支出金		
	19	2,257	府支出金	緑の公共事業(森林)	3,334
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		1,950
			合計		5,284
		5,284			

CHECK						
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか					
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">京都府の予算配分により当初見込んでいた補助金額よりも減額されたが概ね達成できた。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	京都府の予算配分により当初見込んでいた補助金額よりも減額されたが概ね達成できた。	▲ 少し遅れている(少しできていない)	× 遅れている(できていない)
	○ 進捗している(できている)	理由			京都府の予算配分により当初見込んでいた補助金額よりも減額されたが概ね達成できた。	
	▲ 少し遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)						
効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか						
<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">緑の公共事業補助金交付要綱等や事業標準単価表により、補助率、工事単価等が定められている。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	緑の公共事業補助金交付要綱等や事業標準単価表により、補助率、工事単価等が定められている。	▲ 少し削減の余地があった	× 削減の余地があった	
○ 削減の余地がなかった	理由			緑の公共事業補助金交付要綱等や事業標準単価表により、補助率、工事単価等が定められている。		
▲ 少し削減の余地があった						
× 削減の余地があった						

ACTION			
改善	事業内容の方向性		
	A 現状維持	理由	森林整備事業補助金の対象外である民有林及び市行造林地の高齢級林の間伐を実施し森林の持つ公益的機能回復を図り地球温暖化防止に貢献。
	B 内容の見直し		
	C 統廃合・休止・終了		
	事業規模の方向性		
	B 現状維持	理由	京都府独自の補助事業であり、放置された森林の整備や手入れの遅れた高齢級人工林の間伐を行うことにより森林の機能回復を図り、地球温暖化防止を図るため。
A 事業拡大			
C 事業縮小			

平成22年度 事務事業評価

整理番号
3-2

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	06	02	01	02	01
細事業名		森林整備地域活動支援事業				

担当部局	農林水産環境部
担当課等	農林整備課
担当課長の氏名	森田 正二
担当者の氏名	梅田 利通

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) I 交流経済都市 計画項目 (施策) ② 農林業の振興 施策方針 2-1 森林保育の推進
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 交付金により「森林情報の収集活動」、「施業実施区域の明確化」や「歩道の整備等」を支援することにより、森林施業の省力化や森林整備を促進するもの。事業期間は平成19年度から23年度の5年間。 事業の目的 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 森林施業計画の対象となっている森林の内、保育等の施業が必要な9齢級以下の人工林について森林施業の実施に不可欠な地域活動を確保し森林の有する多面的機能を持続的に発揮させる。

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 丹後地区森林組合、(社)京都府森と緑の公社が森林整備地域活動支援実施協定締結森林内において実施する地域活動(歩道の整備等、施業実施区域の明確化)に対し、積算基礎森林(45年生以下の人工林)面積1ha当り5,000円の交付単価を乗じた交付金を支給(国の制度による5年間継続事業の3年目。国費50%、府費25%、市費25%) (積算基礎森林面積:1625.45ha、協定団地数:7、交付金8,127,250円)
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 森林施業地への歩道の整備、草刈等を図ることにより、間伐等保育施業の推進に貢献

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	11	133	国庫支出金		
	19	8,127	府支出金	森林整備地域活動支	6,161
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		2,099
事業費合計		8,260	合計		8,260

CHECK					
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">設定した成果指標は概ね達成できた。[対象行為実績:①施業実施区域の明確化作業 8箇所(全7団地のうち)、②歩道の整備等 32箇所(同)]</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	設定した成果指標は概ね達成できた。[対象行為実績:①施業実施区域の明確化作業 8箇所(全7団地のうち)、②歩道の整備等 32箇所(同)]	▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由	設定した成果指標は概ね達成できた。[対象行為実績:①施業実施区域の明確化作業 8箇所(全7団地のうち)、②歩道の整備等 32箇所(同)]			
▲ 少し遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)					
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">交付単価等は森林整備地域活動支援交付金実施要領等で定められている。(積算基礎森林面積1ha当り5,000円。負担区分は、国2,500円、府1,250円、市1,250円)</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	交付単価等は森林整備地域活動支援交付金実施要領等で定められている。(積算基礎森林面積1ha当り5,000円。負担区分は、国2,500円、府1,250円、市1,250円)	▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由	交付単価等は森林整備地域活動支援交付金実施要領等で定められている。(積算基礎森林面積1ha当り5,000円。負担区分は、国2,500円、府1,250円、市1,250円)			
▲ 少し削減の余地があった					
× 削減の余地があった					

ACTION			
改善	事業内容の方向性		
	A 現状維持	理由	国庫補助事業として平成19年度から制度が変わり、新たに5年間事業が開始されたことにより、森林施業の実施に不可欠な地域活動が確保され、森林の有する多面的機能の持続的発揮に貢献するため、引き続き支援していく必要がある。
	B 内容の見直し		
	C 統廃合・休止・終了		
	事業規模の方向性		
	B 現状維持	理由	森林施業計画の対象となっている森林のうち、保育等の施業が必要な9齢級以下の人工林について、森林施業の実施に不可欠な地域活動を確保し、森林の有する多面的機能を持続的に発揮させるため。
A 事業拡大			
C 事業縮小			

平成22年度 事務事業評価

整理番号
3-3

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	06	02	01	03	01
細事業名		林業労働者新共済事業				

担当部局	農林水産環境部
担当課等	農林整備課
担当課長の氏名	森田 正二
担当者の氏名	梅田 利通

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) I 交流経済都市 計画項目 (施策) ② 農林業の振興 施策方針 2-1 森林保育の推進
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 林業労働者の社会保障制度適用条件の整備及び労働条件の改善並びに組織の育成を図り、もって地域林業の振興及び森林の公益的機能の維持増進に必要な労働力を確保するため。 事業の目的 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 林業労働者の確保、基幹的作業班員の雇用確保、定着促進を図る

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 森林組合(林業労働者新共済事業加入団体認定を受けた概ね5人以上を直接雇用する作業班を組織している森林組合(要綱第3条第2項))の基幹的作業班員の雇用確保及び定着を図るため、林業労働者の共済事業加入にかかる経費に対する支援並びに社会保険加入にかかる事業主負担に対して支援を行った。(長期事業:実人員30人、年間掛金納付実績6,287日、事業費5,155,340円、林業退職金助成事業:掛金納付日数6,356日、共済掛金額2,923,760円、事業費(林退助成金額)444,920円)
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 林業労働者の福祉の向上を図り、林業労働者の確保と地域林業振興への寄与が図られた。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	19	3,022	国庫支出金		
			府支出金	林業労働者新共済事	1,511
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		1,511
事業費合計		3,022	合計		3,022

CHECK					
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">対象となる林業労働者について、補助金を交付しており、概ね達成できた。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	対象となる林業労働者について、補助金を交付しており、概ね達成できた。	▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由	対象となる林業労働者について、補助金を交付しており、概ね達成できた。			
▲ 少し遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)					
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">府補助制度の中で実施しており、削減の余地はない。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	府補助制度の中で実施しており、削減の余地はない。	▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由	府補助制度の中で実施しており、削減の余地はない。			
▲ 少し削減の余地があった					
× 削減の余地があった					

ACTION								
改善	事業内容の方向性							
	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">林業労働者の確保、基幹的作業班員の雇用確保、定着促進を図るため、引き続き実施する必要がある。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A	A 現状維持	理由	林業労働者の確保、基幹的作業班員の雇用確保、定着促進を図るため、引き続き実施する必要がある。		B 内容の見直し	
A	A 現状維持	理由	林業労働者の確保、基幹的作業班員の雇用確保、定着促進を図るため、引き続き実施する必要がある。					
	B 内容の見直し							
	C 統廃合・休止・終了							
改善	事業規模の方向性							
	<table border="1"> <tr> <td>B</td> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">林業労働者の確保、基幹的作業班員の雇用確保、定着促進を図るため、引き続き実施する必要がある。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	B	A 事業拡大	理由	林業労働者の確保、基幹的作業班員の雇用確保、定着促進を図るため、引き続き実施する必要がある。		B 現状維持	
B	A 事業拡大	理由	林業労働者の確保、基幹的作業班員の雇用確保、定着促進を図るため、引き続き実施する必要がある。					
	B 現状維持							
	C 事業縮小							

平成22年度 事務事業評価

整理番号
3-4

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	06	02	01	03	02
細事業名		緑の担い手育成事業				

担当部局	農林水産環境部
担当課等	農林整備課
担当課長の氏名	森田 正二
担当者の氏名	梅田 利通

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) I 交流経済都市 計画項目 (施策) ② 農林業の振興 施策方針 2-1 森林保育の推進
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 森林の維持管理を担う森林組合の基幹的作業班員の確保及び定着を図る。 事業の目的 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 森林の維持・管理を担う森林組合の基幹的作業班員の確保及び定着を図る。

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 森林の維持、管理を担う森林組合の基幹的作業班員の福利厚生を充実を図り又新規若年者の確保及び定着を目的とし、組合が作業班員の福利厚生対策として加入する社会保険加入にかかる事業主負担に対して支援を行なった。(対象:丹後地区森林組合、対象作業班員数10人、年間延就労日数1749.8日、事業費2,367,051円)
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 林業労働者の確保、基幹的作業班員の雇用確保、定着促進が図られた

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	19	1,776	国庫支出金		
			府支出金	緑の担い手育成事業	1,183
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		593
事業費合計		1,776	合計		1,776

CHECK								
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか							
	<table border="1"> <tr> <td>○</td> <td>進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">対象となる林業労働者について、補助金を交付しており、概ね達成できた。</td> </tr> <tr> <td>▲</td> <td>少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>×</td> <td>遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○	進捗している(できている)	理由	対象となる林業労働者について、補助金を交付しており、概ね達成できた。	▲	少し遅れている(少しできていない)	×
○	進捗している(できている)	理由	対象となる林業労働者について、補助金を交付しており、概ね達成できた。					
▲	少し遅れている(少しできていない)							
×	遅れている(できていない)							
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか							
	<table border="1"> <tr> <td>○</td> <td>削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">府補助制度の中で実施しており、削減の余地はない。</td> </tr> <tr> <td>▲</td> <td>少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>×</td> <td>削減の余地があった</td> </tr> </table>	○	削減の余地がなかった	理由	府補助制度の中で実施しており、削減の余地はない。	▲	少し削減の余地があった	×
○	削減の余地がなかった	理由	府補助制度の中で実施しており、削減の余地はない。					
▲	少し削減の余地があった							
×	削減の余地があった							

ACTION				
改善	事業内容の方向性			
	A	A 現状維持	理由	林業労働者の確保、基幹的作業班員の雇用確保、定着促進を図るため、引き続き実施する必要がある。
		B 内容の見直し		
		C 統廃合・休止・終了		
	事業規模の方向性			
	B	A 事業拡大	理由	林業労働者の確保、基幹的作業班員の雇用確保、定着促進を図るため、引き続き実施する必要がある。
	B 現状維持			
	C 事業縮小			

平成22年度 事務事業評価

整理番号
3-5

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	06	02	01	04	01
細事業名		緑化資材配布事業				

担当部局	農林水産環境部
担当課等	農林整備課
担当課長の氏名	森田 正二
担当者の氏名	梅田 利通

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) I 交流経済都市 計画項目 (施策) ② 農林業の振興 施策方針 2-1 森林保育の推進
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 緑化意識の啓発を推進し、地域緑化への意識高揚を図る。 事業の目的 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 市民等の参画も得ながら、緑化推進を進める。

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 松の伐採を防ぐ目的で「門松カード」を作成し年末に各家庭に配布。京丹後市、丹後地方林業振興会の連名。「門松カード」作成 20,927枚 費用36,918円 丹後地方林業振興会と折半。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 緑化の意識の啓発や地域緑化の促進が図れた。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	11	18	国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他	緑の募金事業交付金	5
			一般財源		13
事業費合計		18	合計		18

CHECK				
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか			
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由 「門松カード」の配布により松保全についての意識の啓発を図れた。</td> </tr> <tr> <td>○ ▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由 「門松カード」の配布により松保全についての意識の啓発を図れた。	○ ▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由 「門松カード」の配布により松保全についての意識の啓発を図れた。			
○ ▲ 少し遅れている(少しできていない)				
× 遅れている(できていない)				
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか			
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由 少ない予算の中で、かかる経費について精査のうえ実施しており、削減の余地はない。</td> </tr> <tr> <td>○ ▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由 少ない予算の中で、かかる経費について精査のうえ実施しており、削減の余地はない。	○ ▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由 少ない予算の中で、かかる経費について精査のうえ実施しており、削減の余地はない。			
○ ▲ 少し削減の余地があった				
× 削減の余地があった				

ACTION		
改善	事業内容の方向性	
	A 現状維持	理由 これまでから事業を実施し、高めることができた緑化意識を持続するためには、継続して事業を実施していく必要がある。
	B 内容の見直し	
	C 統廃合・休止・終了	
	事業規模の方向性	
	B 現状維持	理由 桜の苗木の無償配布等を通じて地区に環境緑化への意識高揚を図るため。
A 事業拡大		
C 事業縮小		

平成22年度 事務事業評価

整理番号
3-6

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	06	02	01	04	02
細事業名		緑の少年団活動支援事業				

担当部局	農林水産環境部
担当課等	農林整備課
担当課長の氏名	森田 正二
担当者の氏名	梅田 利通

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) I 交流経済都市 計画項目 (施策) ② 農林業の振興 施策方針 2-1 森林保育の推進
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 緑と親しみ、緑を愛し、緑を育てる活動を通じて人格形成に取り組む団体を支援し緑化意識の高揚を図る。 事業の目的 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 緑化の意識の啓発や地域緑化の促進を図れる。

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 緑化活動、緑の募金活動、地域環境美化活動に取組む峰山・緑の少年団に対し補助金を支給(定額81,000円)
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 緑化の意識の啓発や地域緑化の促進が図れた。 KTR峰山駅環境整備(周辺清掃と花壇づくり)等。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	19	81	国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他	緑の募金事業交付金	81
			一般財源		0
事業費合計		81	合計		81

CHECK							
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか						
	<table border="1"> <tr> <td>○</td> <td>進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由 市民等の参画も得ながら、緑化推進を進めることができた。</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○	進捗している(できている)	理由 市民等の参画も得ながら、緑化推進を進めることができた。	○	▲ 少し遅れている(少しできていない)	○
○	進捗している(できている)	理由 市民等の参画も得ながら、緑化推進を進めることができた。					
○	▲ 少し遅れている(少しできていない)						
○	× 遅れている(できていない)						
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか						
	<table border="1"> <tr> <td>○</td> <td>削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由 少ない予算の中で、かかる経費について精査のうえ実施しており、削減の余地はない。</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○	削減の余地がなかった	理由 少ない予算の中で、かかる経費について精査のうえ実施しており、削減の余地はない。	○	▲ 少し削減の余地があった	○
○	削減の余地がなかった	理由 少ない予算の中で、かかる経費について精査のうえ実施しており、削減の余地はない。					
○	▲ 少し削減の余地があった						
○	× 削減の余地があった						

ACTION							
改善	事業内容の方向性						
	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由 これまでから事業を実施し、高めることができた緑化意識を持続するためには、継続して事業を実施していく必要がある。</td> </tr> <tr> <td>A</td> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td>A</td> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A	A 現状維持	理由 これまでから事業を実施し、高めることができた緑化意識を持続するためには、継続して事業を実施していく必要がある。	A	B 内容の見直し	A
A	A 現状維持	理由 これまでから事業を実施し、高めることができた緑化意識を持続するためには、継続して事業を実施していく必要がある。					
A	B 内容の見直し						
A	C 統廃合・休止・終了						
改善	事業規模の方向性						
	<table border="1"> <tr> <td>B</td> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由 これまでから事業を実施し、高めることができた緑化意識を持続するためには、継続して事業を実施していく必要がある。</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	B	A 事業拡大	理由 これまでから事業を実施し、高めることができた緑化意識を持続するためには、継続して事業を実施していく必要がある。	B	B 現状維持	B
B	A 事業拡大	理由 これまでから事業を実施し、高めることができた緑化意識を持続するためには、継続して事業を実施していく必要がある。					
B	B 現状維持						
B	C 事業縮小						

平成22年度 事務事業評価

整理番号
3-7

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	06	02	02	01	01
細事業名		森林機能回復整備事業				

担当部局	農林水産環境部
担当課等	農林整備課
担当課長の氏名	森田 正二
担当者の氏名	梅田 利通

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) I 交流経済都市 計画項目 (施策) ② 農林業の振興 施策方針 2-1 森林保育の推進
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 京都府独自の補助事業であり、(社)京都府森と緑の公社が実施する民有林造林地の下刈りに対して補助を行なう。 事業の目的 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 放置された森林の整備や手入れにより森林の機能回復を図り、地球温暖化防止に貢献する。

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 京都府独自の補助事業であり、(社)京都府森と緑の公社が実施する民有林造林地の下刈りに対して補助金の交付を行なった。(事業量:下刈り0.4ha、事業費:63,945円)
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 森林の機能回復、地球温暖化防止、雇用対策に有効であった。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入	
	節	金額(千円)	項目	名称 金額(千円)
	19	64	国庫支出金	
			府支出金	緑の公共事業費補助 54
			起債	
			分担金・負担金	
			その他	
			一般財源	10
事業費合計		64	合計	64

CHECK							
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか						
	<table border="1"> <tr> <td>○</td> <td>進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由 京都府の予算配分どおり事業実施できた。</td> </tr> <tr> <td>▲</td> <td>少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>×</td> <td>遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○	進捗している(できている)	理由 京都府の予算配分どおり事業実施できた。	▲	少し遅れている(少しできていない)	×
○	進捗している(できている)	理由 京都府の予算配分どおり事業実施できた。					
▲	少し遅れている(少しできていない)						
×	遅れている(できていない)						
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか						
	<table border="1"> <tr> <td>○</td> <td>削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由 緑の公共事業補助金交付要綱等や事業標準単価表により、補助率、工事単価等が定められている。</td> </tr> <tr> <td>▲</td> <td>少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>×</td> <td>削減の余地があった</td> </tr> </table>	○	削減の余地がなかった	理由 緑の公共事業補助金交付要綱等や事業標準単価表により、補助率、工事単価等が定められている。	▲	少し削減の余地があった	×
○	削減の余地がなかった	理由 緑の公共事業補助金交付要綱等や事業標準単価表により、補助率、工事単価等が定められている。					
▲	少し削減の余地があった						
×	削減の余地があった						

ACTION							
改善	事業内容の方向性						
	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由 今後も継続することにより、森林の機能回復を図り、地球温暖化防止に貢献</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A	A 現状維持	理由 今後も継続することにより、森林の機能回復を図り、地球温暖化防止に貢献	B	B 内容の見直し	C
A	A 現状維持	理由 今後も継続することにより、森林の機能回復を図り、地球温暖化防止に貢献					
B	B 内容の見直し						
C	C 統廃合・休止・終了						
改善	事業規模の方向性						
	<table border="1"> <tr> <td>B</td> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由 放置された森林の整備を行うことにより森林の機能回復を図り、地球温暖化防止に貢献する。</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	B	A 事業拡大	理由 放置された森林の整備を行うことにより森林の機能回復を図り、地球温暖化防止に貢献する。	C	B 現状維持	C
B	A 事業拡大	理由 放置された森林の整備を行うことにより森林の機能回復を図り、地球温暖化防止に貢献する。					
C	B 現状維持						
C	C 事業縮小						

平成22年度 事務事業評価

整理番号
3-8

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	06	02	02	02	01
細事業名		森林健全化促進事業				

担当部局	農林水産環境部
担当課等	農林整備課
担当課長の氏名	森田 正二
担当者の氏名	梅田 利通

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) I 交流経済都市 計画項目 (施策) ② 農林業の振興 施策方針 2-1 森林保育の推進
事業の目的	<p>(どのような目的で事業を実施するか) 松林に多大な松枯れ被害が発生しており、景観維持や松林の健全な育成、蔓延防止のため、海岸線の健全な松に薬剤の樹幹注入を行い被害防止を図る。</p> <p>事業の目的 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 景観維持や松林の健全な育成を図る。</p>

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 景観維持や松林の健全な育成、蔓延防止のため、海岸線の健全な松に薬剤の樹幹注入を行い被害を防止し、景観保全が出来た。(実施箇所:網野町、丹後町、久美浜町の海岸線松林のうち対象松681本(薬剤効果4年、H17年度実施箇所で事業実施))
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 海岸沿い防風林(網野、丹後、久美浜)の機能の確保並びに風致景観等の保全を図った。(薬剤本数3,625本)

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入	
	節	金額(千円)	項目	金額(千円)
事業費合計	11	32	国庫支出金	
	13	10,847	府支出金	松くい虫駆除防除事業 8,102
			起債	
			分担金・負担金	
			その他	
			一般財源	2,777
			合計	10,879
	事業費合計		10,879	合計

CHECK						
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか					
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">景観上重要な松林など必要な箇所を選定して事業を進め、松くい虫防除することができた。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	景観上重要な松林など必要な箇所を選定して事業を進め、松くい虫防除することができた。	▲ 少し遅れている(少しできていない)	× 遅れている(できていない)
	○ 進捗している(できている)	理由			景観上重要な松林など必要な箇所を選定して事業を進め、松くい虫防除することができた。	
	▲ 少し遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)						
効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか						
<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">薬剤単価などかかる経費を精査のうえ、実施しており、削減の余地はない。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	薬剤単価などかかる経費を精査のうえ、実施しており、削減の余地はない。	▲ 少し削減の余地があった	× 削減の余地があった	
○ 削減の余地がなかった	理由			薬剤単価などかかる経費を精査のうえ、実施しており、削減の余地はない。		
▲ 少し削減の余地があった						
× 削減の余地があった						

ACTION			
改善	事業内容の方向性		
	A 現状維持	理由	これまでから事業を実施してきたが、市内では依然、被害がある。現状どおり、事業を引き続き実施していく必要がある。
	B 内容の見直し		
	C 統廃合・休止・終了		
	事業規模の方向性		
	B 現状維持	理由	これまでから事業を実施してきたが、市内では依然、被害がある。現状どおり、事業を引き続き実施していく必要がある。
A 事業拡大			
C 事業縮小			

平成22年度 事務事業評価

整理番号
3-9

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	06	02	02	02	02
細事業名		松くい虫駆除・処理事業				

担当部局	農林水産環境部
担当課等	農林整備課
担当課長の氏名	森田 正二
担当者の氏名	梅田 利通

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) I 交流経済都市 計画項目 (施策) ② 農林業の振興 施策方針 2-1 森林保育の推進
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 松林に多大な被害が発生しており、景観維持や松林の健全な育成、蔓延防止を図る。 事業の目的 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 景観維持や松林の健全な育成、蔓延防止

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 松くい虫被害の発生した松の伐倒及び伐倒木への薬剤散布(実施箇所:網野町、久美浜町の海岸松林、事業量50m3)
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 景観維持や松林の健全な育成、蔓延防止を図った。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入	
	節	金額(千円)	項目	名称 金額(千円)
	13	752	国庫支出金	
			府支出金	松くい虫駆除防除事業 564
			起債	
			分担金・負担金	
			その他	
			一般財源	188
事業費合計		752	合計	752

CHECK					
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">景観上重要な松林など必要な箇所を選定して事業を進め、松くい虫防除することができた。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	景観上重要な松林など必要な箇所を選定して事業を進め、松くい虫防除することができた。	▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由	景観上重要な松林など必要な箇所を選定して事業を進め、松くい虫防除することができた。			
▲ 少し遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)					
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">薬剤単価などかかる経費を精査のうえ、実施しており、削減の余地はない。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	薬剤単価などかかる経費を精査のうえ、実施しており、削減の余地はない。	▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由	薬剤単価などかかる経費を精査のうえ、実施しており、削減の余地はない。			
▲ 少し削減の余地があった					
× 削減の余地があった					

ACTION								
改善	事業内容の方向性							
	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">これまでから事業を実施してきたが、市内では依然、被害がある。現状どおり、事業を引き続き実施していく必要がある。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A	A 現状維持	理由	これまでから事業を実施してきたが、市内では依然、被害がある。現状どおり、事業を引き続き実施していく必要がある。		B 内容の見直し	
A	A 現状維持	理由	これまでから事業を実施してきたが、市内では依然、被害がある。現状どおり、事業を引き続き実施していく必要がある。					
	B 内容の見直し							
	C 統廃合・休止・終了							
改善	事業規模の方向性							
	<table border="1"> <tr> <td>B</td> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">これまでから事業を実施してきたが、市内では依然、被害がある。現状どおり、事業を引き続き実施していく必要がある。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	B	A 事業拡大	理由	これまでから事業を実施してきたが、市内では依然、被害がある。現状どおり、事業を引き続き実施していく必要がある。		B 現状維持	
B	A 事業拡大	理由	これまでから事業を実施してきたが、市内では依然、被害がある。現状どおり、事業を引き続き実施していく必要がある。					
	B 現状維持							
	C 事業縮小							

平成22年度 事務事業評価

整理番号
3-10

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	06	02	02	03	01
細事業名		森林施業路開設事業				

担当部局	農林水産環境部
担当課等	農林整備課
担当課長の氏名	森田 正二
担当者の氏名	梅田 利通

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) I 交流経済都市 計画項目 (施策) ② 農林業の振興 施策方針 2-1 森林保育の推進
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 森林整備の核となる事業で、作業道開設に対する府森林整備事業への上乗せ補助金を行い林家の森林施業への負担軽減を図る。健全な森林の造成、多面的機能の増進、森林の有効利用を図る。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 作業道を開設することにより、施業地での保育等施業の省力化、効率化を図る

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 森林組合が実施主体となって実施した府の森林整備事業(森林施業省力化促進事業)に対して補助金を交付(補助率50%以内)することにより保育等に係る森林所有者の経済的負担の軽減を図った。(実施箇所:久美浜町耐ヶ畑地内、路線数:5路線、延長:1,231m、事業費2,178,000円)
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 健全な森林の維持・保全、保育に係る森林所有者の経済的負担を軽減するために大要であった。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	19	1,089	国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		1,089
事業費合計		1,089	合計		1,089

CHECK					
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">久美浜町内の施業路が5路線開設された。次年度以降、施業地において間伐材搬出を実施するために必要なものであり、森林整備の効果的な実施に有効である。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	久美浜町内の施業路が5路線開設された。次年度以降、施業地において間伐材搬出を実施するために必要なものであり、森林整備の効果的な実施に有効である。	▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由	久美浜町内の施業路が5路線開設された。次年度以降、施業地において間伐材搬出を実施するために必要なものであり、森林整備の効果的な実施に有効である。			
▲ 少し遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)					
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">京丹後市森林整備事業補助金交付要綱により補助率等を定めている。(対象経費(府単費事業査定経費)の50%以内)</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	京丹後市森林整備事業補助金交付要綱により補助率等を定めている。(対象経費(府単費事業査定経費)の50%以内)	▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由	京丹後市森林整備事業補助金交付要綱により補助率等を定めている。(対象経費(府単費事業査定経費)の50%以内)			
▲ 少し削減の余地があった					
× 削減の余地があった					

ACTION								
改善	事業内容の方向性							
	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">作業道を開設することにより、施業地での保育等施業の省力化、効率化を図ることができるため。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A	A 現状維持	理由	作業道を開設することにより、施業地での保育等施業の省力化、効率化を図ることができるため。		B 内容の見直し	
A	A 現状維持	理由	作業道を開設することにより、施業地での保育等施業の省力化、効率化を図ることができるため。					
	B 内容の見直し							
	C 統廃合・休止・終了							
改善	事業規模の方向性							
	<table border="1"> <tr> <td>B</td> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">作業道を開設することにより、施業地での保育等施業の省力化、効率化を図ることができるため。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	B	A 事業拡大	理由	作業道を開設することにより、施業地での保育等施業の省力化、効率化を図ることができるため。		B 現状維持	
B	A 事業拡大	理由	作業道を開設することにより、施業地での保育等施業の省力化、効率化を図ることができるため。					
	B 現状維持							
	C 事業縮小							

平成22年度 事務事業評価

整理番号
3-11

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	06	02	02	03	02
細事業名		間伐施行事業				

担当部局	農林水産環境部
担当課等	農林整備課
担当課長の氏名	森田 正二
担当者の氏名	梅田 利通

PLAN

総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策)	I 交流経済都市			
	計画項目 (施策)	② 農林業の振興			
	施策方針	2-1 森林保育の推進			
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか)	森林整備の核となる事業で、間伐に対する府森林整備事業への上乗せ補助を行い、林家の森林施業への負担軽減を図る。健全な森林の造成、多面的機能の増進、森林の有効利用を図る。	平成26年度事業の効果目標	(平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)	放置森林の増加を食い止め健全な森林の維持・保全を図る。森林所有者の負担軽減

DO

平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか)	森林組合が実施主体となって実施した森林整備事業(国庫)に対して補助金を交付(補助率は査定経費の20%以内)することにより保育等に係る森林所有者の経済的負担の軽減を図った。(事業内容:間伐、事業量:21.77ha、査定経費:5,814,129円(実行事業費3,353,000円))
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入)	林家の森林施業への負担軽減、健全な森林の造成、多面的機能の増進、森林の有効利用を図った

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	19	953	国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		953
事業費合計		953	合計		953

CHECK

評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか	理由	間伐の重要性が叫ばれている中、積極的に事業を実施する森林組合に対し支援を行なうことで森林所有者の負担を軽減していることにつながっており、非常に効果的である。
	<input type="radio"/> 進捗している(できている) <input checked="" type="radio"/> 少し遅れている(少しできていない) <input type="radio"/> 遅れている(できていない)		
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか	理由	京丹后市森林整備事業補助金交付要綱により補助率等を定めている。(間伐補助:対象経費(国庫補助事業査定経費)の20%以内)
	<input type="radio"/> 削減の余地がなかった <input checked="" type="radio"/> 少し削減の余地があった <input type="radio"/> 削減の余地があった		

ACTION

改善	事業内容の方向性		理由	継続して実施していくことで放置森林の増加を食い止め健全な森林の維持・保全を図るため。
	A	A 現状維持		
		B 内容の見直し		
		C 統廃合・休止・終了		
	事業規模の方向性		理由	林家の森林施業の負担系の軽減を図るとともに、健全な森林の造成により森林の持つ公益的機能の増進を図っていくため
	A	A 事業拡大		
	B 現状維持			
	C 事業縮小			

平成22年度 事務事業評価

整理番号
3-12

平成21年度予算	会計名称 一般会計	款 06	項 02	目 02	事業 03	細事業 04
細事業名	災害に強い森づくり事業					

担当部局 農林水産環境部	担当課長の氏名 森田 正二
担当課等 農林整備課	担当者の氏名 野村 隆文

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) I 交流経済都市 計画項目 (施策) ② 農林業の振興 施策方針 2-1 森林保育の推進
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 台風、集中豪雨等により荒廃した森林及び溪流において、土砂・流木等の流失による再度被害を防止するため、森林の整備・治山施設の設定等を実施することにより、災害に強い森の整備を図る。 事業の目的 (平成26年度事業の効果目標) (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 平成22年度で完了予定。

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 平成18年の梅雨前線豪雨災害により、源流域の農地にて地すべり性崩壊が発生し、下流の治山ダムに異常堆積した。放置しておくこと次期豪雨等により下流保全対象に被害を及ぼすため異常堆積土砂を撤去するとともに治山ダムの新設及び本数調整伐を実施し安全安心な森林づくりに資するものである。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 異常堆積土砂撤去V=590m3 資材運搬路L=506m 本数調整伐 A=0.8ha

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
予算科目	11	4	財源内訳	国庫支出金	
	13	1,680		府支出金	
	15	2,420		起債	
	22	306		分担金・負担金	
			その他		
			一般財源	4,410	
事業費合計		4,410	合計	4,410	

CHECK								
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか							
	<table border="1"> <tr> <td>▲</td> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">年度内完成を目指していたが、春先の長雨等により運搬路が荒れ、堆積土砂の搬出が遅れた。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	▲	○ 進捗している(できている)	理由	年度内完成を目指していたが、春先の長雨等により運搬路が荒れ、堆積土砂の搬出が遅れた。		▲ 少し遅れている(少しできていない)	
▲	○ 進捗している(できている)	理由	年度内完成を目指していたが、春先の長雨等により運搬路が荒れ、堆積土砂の搬出が遅れた。					
	▲ 少し遅れている(少しできていない)							
	× 遅れている(できていない)							
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか							
	<table border="1"> <tr> <td>○</td> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">再度災害を未然に防止する観点から、削除する余地はない。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td></td> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○	○ 削減の余地がなかった	理由	再度災害を未然に防止する観点から、削除する余地はない。		▲ 少し削減の余地があった	
○	○ 削減の余地がなかった	理由	再度災害を未然に防止する観点から、削除する余地はない。					
	▲ 少し削減の余地があった							
	× 削減の余地があった							

ACTION								
改善	事業内容の方向性							
	<table border="1"> <tr> <td>C</td> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">平成22年度で事業完了となる。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	C	A 現状維持	理由	平成22年度で事業完了となる。		B 内容の見直し	
C	A 現状維持	理由	平成22年度で事業完了となる。					
	B 内容の見直し							
	C 統廃合・休止・終了							
改善	事業規模の方向性							
	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>		A 事業拡大	理由			B 現状維持	
	A 事業拡大	理由						
	B 現状維持							
	C 事業縮小							

平成22年度 事務事業評価

整理番号
3-13

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	06	02	02	04	01
細事業名		森林総合研究所分収造林事業				

担当部局	農林水産環境部
担当課等	農林整備課
担当課長の氏名	森田 正二
担当者の氏名	梅田 利通

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) I 交流経済都市 計画項目 (施策) ② 農林業の振興 施策方針 2-1 森林保育の推進
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) (独)森林総合研究所分収造林契約地(京丹後市と森林総合研究所の2契約地で久美浜町市野々(円上寺)、布袋野、二俣の3団地がある)の適切な保育施策を実施し、山林の有効活用及び水資源の確保を図る。 事業の目的 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 分収造林契約地において適切な保育施策を実施し、水資源の確保、災害の防止及び集落所有山林の有効活用を図る。

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) (独)森林総合研究所と市(土地(森林)所有集落)との2者による分収造林契約地で適切な保育施策を実施し集落所有山林の有効活用及び水資源の確保を図った。(除伐11.29ha、裾枝払5.45ha、間伐(利用間伐含む)25.26ha、55m3)、作業道開設965m、作業道修理1,150m)
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 分収造林契約地において適切な保育施策を実施し、水資源の確保、災害の防止及び集落所有山林の有効活用を図った。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
予算科目	9	9	財源内訳	国庫支出金	
	11	271		府支出金	
	12	41		起債	
	15	13,969		分担金・負担金	
	22	73		その他	森林総合研究所分収
事業費合計		14,363	一般財源		-18
			合計		14,363

CHECK				
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか			
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由 (独)森林総合研究所から当初予定を超える予算配分があり計画を超える事業ができた。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由 (独)森林総合研究所から当初予定を超える予算配分があり計画を超える事業ができた。	▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由 (独)森林総合研究所から当初予定を超える予算配分があり計画を超える事業ができた。			
▲ 少し遅れている(少しできていない)				
× 遅れている(できていない)				
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか			
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由 費用負担者である(独)森林総合研究所の実施計画承認額に基づき設計し工事発注となる。(丹後地区森林組合への随意契約)。(独)森林総合研究所の単価は他の造林事業の単価より低いいため削減の余地はないと思われる。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由 費用負担者である(独)森林総合研究所の実施計画承認額に基づき設計し工事発注となる。(丹後地区森林組合への随意契約)。(独)森林総合研究所の単価は他の造林事業の単価より低いいため削減の余地はないと思われる。	▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由 費用負担者である(独)森林総合研究所の実施計画承認額に基づき設計し工事発注となる。(丹後地区森林組合への随意契約)。(独)森林総合研究所の単価は他の造林事業の単価より低いいため削減の余地はないと思われる。			
▲ 少し削減の余地があった				
× 削減の余地があった				

ACTION		
改善	事業内容の方向性	
	A 現状維持	理由 分収造林契約にもとづき引き続き適切な保育を実施していく必要がある。
	B 内容の見直し	
	C 統廃合・休止・終了	
	事業規模の方向性	
	B 現状維持	理由 分収造林契約地において適切な保育施策を実施し、水資源の確保、災害の防止及び集落所有山林の有効活用を図るため。
A 事業拡大		
C 事業縮小		

平成22年度 事務事業評価

整理番号
3-14

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	06	02	02	05	01
細事業名		市行造林事業				

担当部局	農林水産環境部
担当課等	農林整備課
担当課長の氏名	森田 正二
担当者の氏名	寺田 周平

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) I 交流経済都市 計画項目 (施策) ② 農林業の振興 施策方針 2-1 森林保育の推進
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 市行造林地における植栽木の財産造成と森林機能の確保を図るため、計画的な保育施策を行うことにより、植林の成長効果を高め、造林地の財産的価値の確保と併せて、森林保全に資する。 事業の目的 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 保育施策 150ha
事業の目的	平成26年度事業の効果目標

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 市域の分収造林契約地の保育施策(新植、下刈、除伐、枝打ち、間伐等)を実施した。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 保育施策を行なったことにより、財産的価値の発揮と森林の公益的機能(水源涵養、山地災害防止等)の確保ができた。 新植1.2ha, 下刈18.9ha 除伐1.9ha, 枝打ち36.3ha, 間伐30.8ha

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
財源内訳	9	2	国庫支出金	森林整備費補助金	20,835
	11	289	府支出金	森林整備活性化支援	1,073
	14	1	起債	市行造林事業債	
	15	28,108	分担金・負担金		
	22	27	その他		
事業費合計		28,427	合計		28,427

CHECK							
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか						
	<table border="1"> <tr> <td>▲</td> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由 毎年の予算削減により森林の保育施策が遅れている。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	▲	○ 進捗している(できている)	理由 毎年の予算削減により森林の保育施策が遅れている。		▲ 少し遅れている(少しできていない)	
▲	○ 進捗している(できている)	理由 毎年の予算削減により森林の保育施策が遅れている。					
	▲ 少し遅れている(少しできていない)						
	× 遅れている(できていない)						
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか						
	<table border="1"> <tr> <td>○</td> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由 森林の適正保育を実施するためには、現状予算では厳しく、シカ等による食害により被害対策が必要であり、これ以上削減する余地はない。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td></td> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○	○ 削減の余地がなかった	理由 森林の適正保育を実施するためには、現状予算では厳しく、シカ等による食害により被害対策が必要であり、これ以上削減する余地はない。		▲ 少し削減の余地があった	
○	○ 削減の余地がなかった	理由 森林の適正保育を実施するためには、現状予算では厳しく、シカ等による食害により被害対策が必要であり、これ以上削減する余地はない。					
	▲ 少し削減の余地があった						
	× 削減の余地があった						

ACTION							
改善	事業内容の方向性						
	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由 保育施策の間伐について、利用間伐による事業費負担の軽減を検討する。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A	A 現状維持	理由 保育施策の間伐について、利用間伐による事業費負担の軽減を検討する。		B 内容の見直し	
A	A 現状維持	理由 保育施策の間伐について、利用間伐による事業費負担の軽減を検討する。					
	B 内容の見直し						
	C 統廃合・休止・終了						
改善	事業規模の方向性						
	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由 森林の機能保全、地球温暖化防止の観点から整備されない森林が増加しているため、集落所有の森林について分収造林契約の拡大を図りたい。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	A	A 事業拡大	理由 森林の機能保全、地球温暖化防止の観点から整備されない森林が増加しているため、集落所有の森林について分収造林契約の拡大を図りたい。		B 現状維持	
A	A 事業拡大	理由 森林の機能保全、地球温暖化防止の観点から整備されない森林が増加しているため、集落所有の森林について分収造林契約の拡大を図りたい。					
	B 現状維持						
	C 事業縮小						

平成22年度 事務事業評価

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	06	02	02	05	01
細事業名		市行造林事業(H20繰越)				

担当部局	農林水産環境部
担当課等	農林整備課
担当課長の氏名	森田 正二
担当者の氏名	永砂 幸作

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) I 交流経済都市 計画項目 (施策) ② 農林業の振興 施策方針 2-1 森林保育の推進
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 市行造林地における植栽木の財産造成と森林機能の確保を図るため、計画的な保育施策を行うことにより、植林の成長効果を高め、造林地の財産的価値の確保と併せて、森林保全に資する。 事業の目的 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)
事業の目的	平成26年度事業の効果目標

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 市域の分収造林契約地の保育施策(枝打ち、間伐等)を実施した。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 保育施策を行なったことにより、財産的価値の発揮と森林の公益的機能(水源涵養、山地災害防止等)の確保ができた。 枝打ち10.6ha, 間伐18.5ha

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入	
	節	金額(千円)	項目	名称 金額(千円)
	11	382	国庫支出金	林業用施設災害復旧
	15	5,941	府支出金	
			起債	
			分担金・負担金	
			その他	
			一般財源	6,323
事業費合計		6,323	合計	6,323

CHECK							
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか						
	<table border="1"> <tr> <td>▲</td> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由 毎年の予算削減により森林の保育施策が遅れている。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	▲	○ 進捗している(できている)	理由 毎年の予算削減により森林の保育施策が遅れている。		▲ 少し遅れている(少しできていない)	
▲	○ 進捗している(できている)	理由 毎年の予算削減により森林の保育施策が遅れている。					
	▲ 少し遅れている(少しできていない)						
	× 遅れている(できていない)						
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか						
	<table border="1"> <tr> <td>○</td> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由 森林の適正保育を実施するためには、現状予算では厳しく、シカ等による食害により被害対策が必要であり、これ以上削減する余地はない。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td></td> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○	○ 削減の余地がなかった	理由 森林の適正保育を実施するためには、現状予算では厳しく、シカ等による食害により被害対策が必要であり、これ以上削減する余地はない。		▲ 少し削減の余地があった	
○	○ 削減の余地がなかった	理由 森林の適正保育を実施するためには、現状予算では厳しく、シカ等による食害により被害対策が必要であり、これ以上削減する余地はない。					
	▲ 少し削減の余地があった						
	× 削減の余地があった						

ACTION							
改善	事業内容の方向性						
	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由 保育施策の間伐について、利用間伐による事業費負担の軽減を検討する。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A	A 現状維持	理由 保育施策の間伐について、利用間伐による事業費負担の軽減を検討する。		B 内容の見直し	
A	A 現状維持	理由 保育施策の間伐について、利用間伐による事業費負担の軽減を検討する。					
	B 内容の見直し						
	C 統廃合・休止・終了						
改善	事業規模の方向性						
	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由 森林の機能保全、地球温暖化防止の観点から整備されない森林が増加しているため、集落所有の森林について分収造林契約の拡大を図りたい。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	A	A 事業拡大	理由 森林の機能保全、地球温暖化防止の観点から整備されない森林が増加しているため、集落所有の森林について分収造林契約の拡大を図りたい。		B 現状維持	
A	A 事業拡大	理由 森林の機能保全、地球温暖化防止の観点から整備されない森林が増加しているため、集落所有の森林について分収造林契約の拡大を図りたい。					
	B 現状維持						
	C 事業縮小						

平成22年度 事務事業評価

整理番号
3-16

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	06	02	02	08	01
細事業名		小規模治山事業				

担当部局	農林水産環境部
担当課等	農林整備課
担当課長の氏名	森田 正二
担当者の氏名	野村 隆文

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) I 交流経済都市 計画項目 (施策) ② 農林業の振興 施策方針 2-2 森林環境の保全
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 林地崩壊の拡大防止と地域住民等の安全確保のため、崩壊した林地の保全を図る。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 林地が崩壊し、住家に支障となった土砂撤去及び山腹の安定・緑化工事を行い、林地の機能回復を行った。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 崩壊林地の山腹の安定により、住家2戸及び公共施設(公民館)の安全・安心が確保できた。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
予算科目	13	609	国庫支出金		
	15	2,938	府支出金		
			起債		
			分担金・負担金	小規模治山事業分担	440
			その他		
			一般財源		3,107
事業費合計		3,547	合計		3,547

CHECK		
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか	
	○ 進捗している(できている)	理由 本事業により、林地の多面的機能の確保、林地に隣接する家屋等の災害防止に寄与した。
	▲ 少し遅れている(少しできていない)	
	× 遅れている(できていない)	
効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか		
○ 削減の余地がなかった	理由 工事内容・工法等検討し、必要最小限で効果のある事業を実施している。	
▲ 少し削減の余地があった		
× 削減の余地があった		

ACTION		
改善	事業内容の方向性	
	B A 現状維持	理由 住民の高齢化等により受益者負担金の支払い能力がなく、事業化できない箇所の対策をどのようにするのか検討が必要。
	B B 内容の見直し	
	C 統廃合・休止・終了	
	事業規模の方向性	
	B A 事業拡大	理由 住民要望があれば、今後も危険箇所の解消を進めて行く。
B B 現状維持		
C 事業縮小		

平成22年度 事務事業評価

整理番号
3-17

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	06	02	02	08	01
細事業名		小規模治山事業(H20繰越)				

担当部局	農林水産環境部
担当課等	農林整備課
担当課長の氏名	森田 正二
担当者の氏名	野村 隆文

総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策)	I 交流経済都市	
	計画項目 (施策)	② 農林業の振興	
	施策方針	2-2 森林環境の保全	
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか)	林地崩壊の拡大防止と地域住民等の安全確保のため、崩壊した林地の保全を図る。	平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)

平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか)	林地が崩壊し、住家に支障となった土砂撤去及び山腹の安定・緑化工事を行い、林地の機能回復を行った。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入)	崩壊林地の山腹の安定により、住家2戸の安全・安心が確保できた。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
事業費合計	11	38	国庫支出金		
	15	5,859	府支出金	小規模治山事業補助	2,611
			起債		
			分担金・負担金	小規模治山事業分担	623
			その他		
			一般財源		2,663
事業費合計		5,897	合計		5,897

評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか	
	○	<ul style="list-style-type: none"> ○ 進捗している(できている) ▲ 少し遅れている(少しできていない) × 遅れている(できていない)
	理由	本事業により、林地の多面的機能の確保、林地に隣接する家屋等の災害防止に寄与した。
	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか	
○	<ul style="list-style-type: none"> ○ 削減の余地がなかった ▲ 少し削減の余地があった × 削減の余地があった 	
理由	工事内容・工法等検討し、必要最小限で効果のある事業を実施している。	

改善	事業内容の方向性	
	B	<ul style="list-style-type: none"> A 現状維持 B 内容の見直し C 統廃合・休止・終了
	理由	住民の高齢化等により受益者負担金の支払い能力がなく、事業化できない箇所の対策をどのようにするのか検討が必要。
	事業規模の方向性	
	B	<ul style="list-style-type: none"> A 事業拡大 B 現状維持 C 事業縮小
	理由	住民要望があれば、今後も危険箇所の解消を進めて行く。

平成22年度 事務事業評価

整理番号
3-18

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	06	02	02	08	02
細事業名		小規模治山事業補助金				

担当部局	農林水産環境部
担当課等	農林整備課
担当課長の氏名	森田 正二
担当者の氏名	山本 忍

総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策)	I 交流経済都市		
	計画項目 (施策)	② 農林業の振興		
	施策方針	2-2 森林環境の保全		
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか)	平成21年8月9日から10日にかけて発生した台風9号豪雨により被災した林地について、林地保全及び地域防災に資するため、集落が実施する小規模な復旧事業について支援するもの。	平成26年度事業の効果目標	(平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)

平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか)	林地が崩壊し、住家に支障となった土砂撤去及び山腹の安定・緑化工事を行い、林地の機能回復を行った。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入)	地元への機械借上、原材料費の補助により林地の機能回復が図られた。 林地の復旧 2件

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	19	197	国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		440
			その他		
			一般財源		-243
事業費合計		197	合計		197

評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか		
	○	○ 進捗している(できている)	理由 地元営での事業であり、早期の事業着手が行え、必要最小限の資材等で現状回復が図られ効果があった。
		▲ 少し遅れている(少しできていない)	
		× 遅れている(できていない)	
効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか			
○	○ 削減の余地がなかった	理由 労力、燃料費等を地元で提供しているため、これ以上の削減はできない。	
	▲ 少し削減の余地があった		
	× 削減の余地があった		

改善	事業内容の方向性		
	B	A 現状維持	理由 住民の高齢化等により受益者負担金の支払い能力がなく、事業化できない箇所の対策をどのようにするのか検討が必要。
		B 内容の見直し	
		C 統廃合・休止・終了	
	事業規模の方向性		
	B	A 事業拡大	理由 住民要望があれば、今後も危険箇所の解消を進めて行く。
B 現状維持			
C 事業縮小			

平成22年度 事務事業評価

整理番号
3-19

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	06	02	02	10	01
細事業名		森林環境整備事業				

担当部局	農林水産環境部
担当課等	農林整備課
担当課長の氏名	森田 正二
担当者の氏名	梅田 利通

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) I 交流経済都市 計画項目 (施策) ② 農林業の振興 施策方針 2-2 森林環境の保全
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 里山・森林内に侵入した竹林の①整理伐、②刈払い、③竹材搬出(資材として活用するものに限る)に対して補助を行い、里山環境に保全と有害鳥獣の温床化防止を図る。 事業の目的 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 整理伐 1ha、刈払い 0.5ha、竹材搬出 4,000本
事業の目的	平成26年度事業の効果目標

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 森林所有者5人及び4団体に補助金の交付を行なった。(整理伐 7,041㎡、刈払 999㎡、搬出 3,300本)[補助率は京都府の算出に基づく「緑の公共事業」の標準経費の10分の10以内。整理伐40,800円/10a、刈払い12,240円/10a、搬出100円/本]
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 人工林に侵入した竹の伐採により植栽木の成長が期待できる。搬出した竹2,500本をチップにして、ほ場に土壌改良剤として使用し、特別栽培米の作付け9.5haを行なった。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	19	766	国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		766
事業費合計		766	合計		766

CHECK						
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか					
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">森林の持つ多面的機能の発揮、里山環境の保全と有害鳥獣の温床化の防止、搬出竹材の農業用資材として有効活用が図られた。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	森林の持つ多面的機能の発揮、里山環境の保全と有害鳥獣の温床化の防止、搬出竹材の農業用資材として有効活用が図られた。	▲ 少し遅れている(少しできていない)	× 遅れている(できていない)
	○ 進捗している(できている)	理由			森林の持つ多面的機能の発揮、里山環境の保全と有害鳥獣の温床化の防止、搬出竹材の農業用資材として有効活用が図られた。	
	▲ 少し遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)						
効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか						
<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">申請者の自力施工で竹林整備を行っている。補助金のほとんどが消耗品費(チェーンソーの歯など)や燃料費に充当されるため、削減の余地はない状況であった。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	申請者の自力施工で竹林整備を行っている。補助金のほとんどが消耗品費(チェーンソーの歯など)や燃料費に充当されるため、削減の余地はない状況であった。	▲ 少し削減の余地があった	× 削減の余地があった	
○ 削減の余地がなかった	理由			申請者の自力施工で竹林整備を行っている。補助金のほとんどが消耗品費(チェーンソーの歯など)や燃料費に充当されるため、削減の余地はない状況であった。		
▲ 少し削減の余地があった						
× 削減の余地があった						

ACTION			
改善	事業内容の方向性		
	A 現状維持	理由	人工林に侵入した竹の整理伐を行なうことで、植栽木の生育が望め、又搬出竹の有効活用も継続して行なうことが出来る。
	B 内容の見直し		
	C 統廃合・休止・終了		
	事業規模の方向性		
	A 事業拡大	理由	人工林及び里山への竹の侵入は拡大しており、土砂流失防備等の森林の持つ機能を発揮させるためには本事業による整理伐等が必要であり、又森林所有者からの事業実施要望も多くなる。
B 現状維持			
C 事業縮小			

平成22年度 事務事業評価

整理番号
3-20

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	06	02	01	01	03
細事業名		放置竹林拡大防止事業				

担当部局	農林水産環境部
担当課等	農林整備課
担当課長の氏名	森田 正二
担当者の氏名	梅田 利通

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) I 交流経済都市 計画項目 (施策) ② 農林業の振興 施策方針 2-3 林業特産品の振興
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 京都府独自の補助事業であり、森林の健全な育成を目的とする森林に、侵入した竹の伐採及び伐採した竹の搬出、伐採後に発生したタケノコ及び笹類の刈払いを行なう。 事業の目的 (平成26年度までに、どのような効果を目指すか。できるだけ指標と数値で記入) 放置竹林による森林侵食を防ぐとともに、伐採した竹材の有効活用を行なう。

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 森林の健全な育成を目的とする森林に侵入した竹の伐採及び伐採した竹の搬出、伐採後に発生したタケノコ及びササ類の刈払いを実施した。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 放置竹林伐採による森林の公益的機能の回復、竹材の有効活用(竹炭)、有害鳥獣の隠れ家化の防止を図った。(整理伐 1.57ha、刈払い1.59ha、竹材搬出425本)

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入	
	節	金額(千円)	項目	金額(千円)
	15	1,272	国庫支出金	
			府支出金	緑の公共事業(放置竹)
			起債	635
			分担金・負担金	
			その他	
			一般財源	637
事業費合計		1,272	合計	1,272

CHECK					
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">森林の健全な育成を目的とする森林に侵入した竹の伐採及び伐採した竹の搬出、伐採後に発生したタケノコ等の刈払いを実施した。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	森林の健全な育成を目的とする森林に侵入した竹の伐採及び伐採した竹の搬出、伐採後に発生したタケノコ等の刈払いを実施した。	▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由	森林の健全な育成を目的とする森林に侵入した竹の伐採及び伐採した竹の搬出、伐採後に発生したタケノコ等の刈払いを実施した。			
▲ 少し遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)					
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">緑の公共事業補助金交付要綱等や事業標準単価表により、補助率、工事単価等が定められている。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	緑の公共事業補助金交付要綱等や事業標準単価表により、補助率、工事単価等が定められている。	▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由	緑の公共事業補助金交付要綱等や事業標準単価表により、補助率、工事単価等が定められている。			
▲ 少し削減の余地があった					
× 削減の余地があった					

ACTION			
改善	事業内容の方向性		
	A 現状維持	理由	今後も継続することにより、森林の機能回復を図り、地球温暖化防止に貢献するとともに、有害鳥獣の温床化の防止、伐採した竹材の有効活用を行なう。
	B 内容の見直し		
	C 統廃合・休止・終了		
	事業規模の方向性		
	A 事業拡大	理由	森林に侵入した竹の伐採及び伐採した竹の搬出、伐採後に発生したタケノコ及び笹類の刈払いを行ない、森林の持つ公益的機能回復を図り地球温暖化防止に貢献する。
B 現状維持			
C 事業縮小			

平成22年度 事務事業評価

整理番号
30-14

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	06	02	02	06	01
細事業名		丹後縦貫林道リフレッシュ事業				

担当部局	農林水産環境部
担当課等	農林整備課
担当課長の氏名	森田 正二
担当者の氏名	山本 忍

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) VI うるおい安全都市 計画項目 (施策) ② 道路ネットワークの整備 施策方針 4 農道及び林道の整備
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 丹後縦貫林道沿線の豊かな自然を活用した保健休養、環境をテーマとした観光等による地域振興、木材搬出の効率化、森林整備の促進、大型車輛通行等の安全確保、緊急時の迂回路確保を図る。 事業の目的 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 丹後縦貫林道(成相線)の京丹後市管内については、平成21年度で終了予定。林道改修延長 L=13,800m

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 丹後縦貫林道(大内線、成相線)の拡幅事業費の地元負担金(丹後縦貫林道リフレッシュ事業)の支払い及び土地の使用に関する損失補償費に支出した。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 京丹後市管内分りリフレッシュ事業の完了。 改築工事(大内線)L=120m (成相線)L=1,252m 計 L=1,372m 舗装工事(大内線)L=800m (成相線)L=1,071m 計 L=1,871m

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
事業費合計	11	5	国庫支出金		
	19	10,038	府支出金		
	22	1,075	起債	合併推進債	9,000
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		2,118
事業費合計		11,118	合計		11,118

CHECK	
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか
	<input type="radio"/> 進捗している(できている) <input checked="" type="radio"/> ▲ 少し遅れている(少しできていない) 理由 計画通りリフレッシュ事業が実施できた。 <input type="radio"/> × 遅れている(できていない)
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか
	<input type="radio"/> 削減の余地がなかった <input checked="" type="radio"/> ▲ 少し削減の余地があった 理由 早期の事業完了を目指し、事業効果を上げる観点から削減する余地はない。 <input type="radio"/> × 削減の余地があった

ACTION		
改善	事業内容の方向性	
	A 現状維持	理由
	B 内容の見直し	
	C 統廃合・休止・終了	
	事業規模の方向性	
	A 事業拡大	理由
B 現状維持		
C 事業縮小		

平成22年度 事務事業評価

整理番号
30-15

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	06	02	02	06	02
細事業名		緑のふるさと林道整備事業				

担当部局	農林水産環境部
担当課等	農林整備課
担当課長の氏名	森田 正二
担当者の氏名	山本 忍

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) VI うるおい安全都市
	計画項目 (施策) ② 道路ネットワークの整備
	施策方針 4 農道及び林道の整備
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 丹後縦貫林道沿線の豊かな自然を活用した保健休養、環境をテーマとした観光等による地域振興、木材搬出の効率化、森林整備の促進、大型車輛通行等の安全確保、緊急時の迂回路確保を図る。
	平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 丹後縦貫林道(奥寄線)の開設事業費の地元負担金(緑のふるさと林道整備事業)の支払い及び土地の使用に関する損失補償代金に支出した。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 林道開設延長L=723m 全体延長 L=5,794mの内 L=5,194mの開設が出来た。進捗率 89%

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	11	5	国庫支出金		
	19	15,674	府支出金		
	22	6,061	起債	合併推進債	14,400
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		7,340
事業費合計		21,740	合計		21,740

CHECK				
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか			
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由 計画的に林道開設工事が実施できた。</td> </tr> <tr> <td>○ ▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>○ × 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由 計画的に林道開設工事が実施できた。	○ ▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由 計画的に林道開設工事が実施できた。			
○ ▲ 少し遅れている(少しできていない)				
○ × 遅れている(できていない)				
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか			
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由 早期の事業完了を目指し、事業効果を上げる観点から削減する余地はない。</td> </tr> <tr> <td>○ ▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>○ × 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由 早期の事業完了を目指し、事業効果を上げる観点から削減する余地はない。	○ ▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由 早期の事業完了を目指し、事業効果を上げる観点から削減する余地はない。			
○ ▲ 少し削減の余地があった				
○ × 削減の余地があった				

ACTION		
改善	事業内容の方向性	
	C A 現状維持	理由 平成22年度事業完了により終了となる。
	B 内容の見直し	
	C 統廃合・休止・終了	
	事業規模の方向性	
	B A 事業拡大	理由 事業完了の最終年度であり継続して事業執行を行なう。
B 現状維持		
C 事業縮小		

平成22年度 事務事業評価

整理番号
30-16

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	06	02	02	07	01
細事業名		小規模林道整備事業補助金				

担当部局	農林水産環境部
担当課等	農林整備課
担当課長の氏名	森田 正二
担当者の氏名	山本 忍

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) VI うるおい安全都市 計画項目 (施策) ② 道路ネットワークの整備 施策方針 4 農道及び林道の整備
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 林道の適正な維持管理・保全を図るため、地元営小規模林道整備事業に係る機械借上費 原材料費について、事業者に補助金による支援を行う。 事業の目的 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 集落での持続的な林業用施設の維持保全 15件
事業の目的	平成26年度事業の効果目標

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 市域で集落が管理する林道及び作業道について、地元営で行なう維持管理業務(原材料費、機械借上費)に対して補助金を交付した。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 地元への機械借上、原材料費の補助により短期間により事業着手され、早期の現状回復された。(林道4路線 路面維持補修 コンクリート舗装 L=166m) (林道5路線 路面維持補修 砕石舗装 L=820m)

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	19	1,157	国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		1,157
事業費合計		1,157	合計		1,157

CHECK					
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">地元営での事業であり、早期の事業着手が行え、必要最小限の資材等で現状回復が図られ効果があった。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	地元営での事業であり、早期の事業着手が行え、必要最小限の資材等で現状回復が図られ効果があった。	▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由	地元営での事業であり、早期の事業着手が行え、必要最小限の資材等で現状回復が図られ効果があった。			
▲ 少し遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)					
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">労力、燃料費等を地元で提供しているため、これ以上の削減はできない。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	労力、燃料費等を地元で提供しているため、これ以上の削減はできない。	▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由	労力、燃料費等を地元で提供しているため、これ以上の削減はできない。			
▲ 少し削減の余地があった					
× 削減の余地があった					

ACTION								
改善	事業内容の方向性							
	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">小規模な林業用施設の改修・修繕について、地元と協働した維持管理について、補助金による支援を行う。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A	A 現状維持	理由	小規模な林業用施設の改修・修繕について、地元と協働した維持管理について、補助金による支援を行う。		B 内容の見直し	
A	A 現状維持	理由	小規模な林業用施設の改修・修繕について、地元と協働した維持管理について、補助金による支援を行う。					
	B 内容の見直し							
	C 統廃合・休止・終了							
改善	事業規模の方向性							
	<table border="1"> <tr> <td>B</td> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">森林の適正保育、森林整備の省力化を検討する中で、林道を管理する集落との協働により継続して事業を行う。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	B	A 事業拡大	理由	森林の適正保育、森林整備の省力化を検討する中で、林道を管理する集落との協働により継続して事業を行う。		B 現状維持	
B	A 事業拡大	理由	森林の適正保育、森林整備の省力化を検討する中で、林道を管理する集落との協働により継続して事業を行う。					
	B 現状維持							
	C 事業縮小							

平成22年度 事務事業評価

整理番号
30-17

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	06	02	02	07	02
細事業名		林道等整備事業				

担当部局	農林水産環境部
担当課等	農林整備課
担当課長の氏名	森田 正二
担当者の氏名	永砂 幸作

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) VI うるおい安全都市
	計画項目 (施策) ② 道路ネットワークの整備
	施策方針 4 農道及び林道の整備
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 林道等の整備により、森林の有効活用・保全、併せて森林の有する公益的機能の確保に資する。
	平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 丹後縦貫林道太鼓山線・成相線・大内線の維持管理業務及び工事発注を行なった。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 丹後縦貫林道を利用する歩行者、車輛等の安全確保が図られた。 太鼓山線 除草工 L=7,580m A=21,800㎡ 横断溝修繕 L=7.0m 成相線 除草工 L=7,270m A=10,290㎡ 大内線 除草工 L=5,870m A=12,200㎡

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入			
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)	
事業費合計	13	4,452	財源内訳	国庫支出金		
	15	840		府支出金		
				起債		
				分担金・負担金	丹後縦貫林道維持管	1,149
				その他		
				一般財源		4,143
				合計		5,292
	事業費合計			5,292	合計	

CHECK						
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか					
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">林道等の維持管理を実施することにより、森林整備を早期に実施することができ、通行車輛等の安全も確保できた。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	林道等の維持管理を実施することにより、森林整備を早期に実施することができ、通行車輛等の安全も確保できた。	▲ 少し遅れている(少しできていない)	× 遅れている(できていない)
	○ 進捗している(できている)	理由			林道等の維持管理を実施することにより、森林整備を早期に実施することができ、通行車輛等の安全も確保できた。	
	▲ 少し遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)						
効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか						
<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">広域な林道であり、限られた予算の中での維持管理業務であり、手の入らない区間も多いため、削減する余地はない。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	広域な林道であり、限られた予算の中での維持管理業務であり、手の入らない区間も多いため、削減する余地はない。	▲ 少し削減の余地があった	× 削減の余地があった	
○ 削減の余地がなかった	理由			広域な林道であり、限られた予算の中での維持管理業務であり、手の入らない区間も多いため、削減する余地はない。		
▲ 少し削減の余地があった						
× 削減の余地があった						

ACTION			
改善	事業内容の方向性		
	A 現状維持	理由	林道等の整備や維持管理は森林内作業や林産物の搬出や、適正な森林保全作業のため継続して事業を行う必要がある。
	B 内容の見直し		
	C 統廃合・休止・終了		
	事業規模の方向性		
	B 現状維持	理由	林道等の適切な維持管理及び森林の適正保育、森林整備の省力化を検討する中で林道改良工事の新規着手について検討を行なう。
A 事業拡大			
C 事業縮小			

平成22年度 事務事業評価

整理番号
38-27

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	11	01	01	01	01
細事業名		現年発生農地・農業用施設災害復旧事業				

担当部局	農林水産環境部
担当課等	農林整備課
担当課長の氏名	森田 正二
担当者の氏名	井上 辰也

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) I 交流経済都市 計画項目 (施策) ② 農林業の振興 施策方針
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 平成21年8月10日台風9号豪雨により被災した農地・農業用施設の機能回復を図り、農業経営の安定、公益的機能の確保に資するため、早期に復旧を行う。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 平成21年8月10日台風9号豪雨により被災した農地・農業用施設を対象に、災害復旧工事を行った。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 災害復旧工事等を行うことにより、被災した農地・農業用施設の機能回復を行った。 補助災害復旧事業 工事5件(農地4件、施設1件) 単独災害復旧事業 工事22件(農地13件、施設8件)、支援補助金52件

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入	
	節	金額(千円)	項目	名称 金額(千円)
	11	149	国庫支出金	農地・農業用施設災害 3,499
	13	7,403	府支出金	
	15	10,581	起債	
	19	7,889	分担金・負担金	農地・農業用施設災害 913
			その他	
			一般財源	21,610
事業費合計		26,022	合計	26,022

CHECK				
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか			
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由 被災した農地・農業用施設の機能回復を図るため災害復旧を行った。</td> </tr> <tr> <td>○ ▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>○ × 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由 被災した農地・農業用施設の機能回復を図るため災害復旧を行った。	○ ▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由 被災した農地・農業用施設の機能回復を図るため災害復旧を行った。			
○ ▲ 少し遅れている(少しできていない)				
○ × 遅れている(できていない)				
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか			
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由 災害査定時に復旧工法や事業費を精査し、復旧工事発注時に適正な工事費積算を行っている。</td> </tr> <tr> <td>○ ▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>○ × 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由 災害査定時に復旧工法や事業費を精査し、復旧工事発注時に適正な工事費積算を行っている。	○ ▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由 災害査定時に復旧工法や事業費を精査し、復旧工事発注時に適正な工事費積算を行っている。			
○ ▲ 少し削減の余地があった				
○ × 削減の余地があった				

ACTION		
改善	事業内容の方向性	
	A 現状維持	理由 被災した農地・農業用施設の機能回復を図るため当事業が必要。
	B 内容の見直し	
	C 統廃合・休止・終了	
	事業規模の方向性	
	B 現状維持	理由 被災した農地・農業用施設の機能回復を図るため当事業が必要。
A 事業拡大		
C 事業縮小		

平成22年度 事務事業評価

整理番号
38-28

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	11	01	01	02	01
細事業名		過年発生農地・農業用施設災害復旧事業				

担当部局	農林水産環境部
担当課等	農林整備課
担当課長の氏名	森田 正二
担当者の氏名	井上 辰也

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) I 交流経済都市 計画項目 (施策) ② 農林業の振興 施策方針
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 平成20年7月28日発生7月豪雨により被災した農地・農業用施設の機能回復を図り、農業経営の安定、公益的機能の確保に資するため、早期に復旧を行う。 事業の目的 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 平成20年7月28日発生7月豪雨により被災した農地・農業用施設を対象に、災害復旧工事を行った。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 災害復旧工事等を行うことにより、被災した農地・農業用施設の機能回復を行った。 補助災害復旧事業 工事2件(施設)

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
事業費合計	11	123	国庫支出金	農地・農業用施設災害	27,364
	15	3,560	府支出金		
			起債		
			分担金・負担金	農地・農業用施設災害	45
			その他		
			一般財源		-23,726
			合計		3,683

CHECK					
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由 被災した農地・農業用施設の機能回復を図るため災害復旧を行った。</td> </tr> <tr> <td>○ ▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>○ × 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由 被災した農地・農業用施設の機能回復を図るため災害復旧を行った。	○ ▲ 少し遅れている(少しできていない)	○ × 遅れている(できていない)
	○ 進捗している(できている)	理由 被災した農地・農業用施設の機能回復を図るため災害復旧を行った。			
	○ ▲ 少し遅れている(少しできていない)				
○ × 遅れている(できていない)					
効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか					
<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由 災害査定時に復旧工法や事業費を精査し、復旧工事発注時に適正な工事費積算を行っている。</td> </tr> <tr> <td>○ ▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>○ × 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由 災害査定時に復旧工法や事業費を精査し、復旧工事発注時に適正な工事費積算を行っている。	○ ▲ 少し削減の余地があった	○ × 削減の余地があった	
○ 削減の余地がなかった	理由 災害査定時に復旧工法や事業費を精査し、復旧工事発注時に適正な工事費積算を行っている。				
○ ▲ 少し削減の余地があった					
○ × 削減の余地があった					

ACTION		
改善	事業内容の方向性	
	A 現状維持	理由 被災した農地・農業用施設の機能回復を図るため当事業が必要。
	B 内容の見直し	
	C 統廃合・休止・終了	
	事業規模の方向性	
	B 現状維持	理由 被災した農地・農業用施設の機能回復を図るため当事業が必要。
A 事業拡大		
C 事業縮小		

平成22年度 事務事業評価

整理番号
38-29

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	11	01	01	01	01
細事業名		現年発生農地・農業用施設災害復旧事業(H20繰越)				

担当部局	農林水産環境部
担当課等	農林整備課
担当課長の氏名	森田 正二
担当者の氏名	井上 辰也

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) I 交流経済都市 計画項目 (施策) ② 農林業の振興 施策方針
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 平成20年7月28日発生7月豪雨により被災した農地・農業用施設の機能回復を図り、農業経営の安定、公益的機能の確保に資するため、早期に復旧を行う。 事業の目的 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 平成20年7月28日発生7月豪雨により被災した農地・農業用施設を対象に、災害復旧工事を行った。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 災害復旧工事等を行うことにより、被災した農地・農業用施設の機能回復を行った。 補助災害復旧事業 工事20件(農地10件、施設10件) 単独災害復旧事業 工事14件(農地9件、施設5件)

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入	
	節	金額(千円)	項目	名称 金額(千円)
財源内訳	4	51	国庫支出金	農地・農業用施設災害復旧費 20,192
	7	335	府支出金	
	9	126	起債	
	11	266	分担金・負担金	農地・農業用施設災害復旧費 1,292
	14	3	その他	
	15	42,579		
	19	55		
事業費合計		43,415	一般財源 21,931	合計 43,415

CHECK				
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか			
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由 被災した農地・農業用施設の機能回復を図るため災害復旧を行った。</td> </tr> <tr> <td>○ ▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>○ × 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由 被災した農地・農業用施設の機能回復を図るため災害復旧を行った。	○ ▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由 被災した農地・農業用施設の機能回復を図るため災害復旧を行った。			
○ ▲ 少し遅れている(少しできていない)				
○ × 遅れている(できていない)				
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか			
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由 災害査定時に復旧工法や事業費を精査し、復旧工事発注時に適正な工事費積算を行っている。</td> </tr> <tr> <td>○ ▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>○ × 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由 災害査定時に復旧工法や事業費を精査し、復旧工事発注時に適正な工事費積算を行っている。	○ ▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由 災害査定時に復旧工法や事業費を精査し、復旧工事発注時に適正な工事費積算を行っている。			
○ ▲ 少し削減の余地があった				
○ × 削減の余地があった				

ACTION		
改善	事業内容の方向性	
	A 現状維持	理由 被災した農地・農業用施設の機能回復を図るため当事業が必要。
	B 内容の見直し	
	C 統廃合・休止・終了	
	事業規模の方向性	
	B 現状維持	理由 被災した農地・農業用施設の機能回復を図るため当事業が必要。
A 事業拡大		
C 事業縮小		

平成22年度 事務事業評価

整理番号
38-30

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	11	01	02	01	01
細事業名		現年発生林業用施設災害復旧事業				

担当部局	農林水産環境部
担当課等	農林整備課
担当課長の氏名	森田 正二
担当者の氏名	野村 隆文

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) I 交流経済都市 計画項目 (施策) ② 農林業の振興 施策方針
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 平成21年8月9日から10日にかけて発生した台風9号豪雨により機能不全となった林業用施設について、従前の機能回復を早期に図るため、被災箇所を測量設計、復旧工事及び復旧に係る地元支援を行うもの。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 平成21年8月9日発生台風9号豪雨により被災した林業用施設を対象に、測量設計、災害復旧工事を行った。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 災害復旧工事等を行うことにより、被災した林業用施設の機能回復を行った。 補助災害 工事3件(完了磯砂線1号箇所) 繰越:磯砂線2号箇所、大ソバ谷線、田和谷線 単独災害 工事3件(作業道1件、林道2件)完了

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入	
	節	金額(千円)	項目	名称 金額(千円)
	9	5	国庫支出金	林業用施設災害復旧 4,823
	11	83	府支出金	
	13	3,654	起債	
	15	8,998	分担金・負担金	
	19	1,180	その他	
			一般財源	9,097
事業費合計		13,920	合計	13,920

CHECK				
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか			
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由 被災した林業用施設の機能回復を図るため災害復旧を行った。</td> </tr> <tr> <td>○ ▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>○ × 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由 被災した林業用施設の機能回復を図るため災害復旧を行った。	○ ▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由 被災した林業用施設の機能回復を図るため災害復旧を行った。			
○ ▲ 少し遅れている(少しできていない)				
○ × 遅れている(できていない)				
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか			
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由 災害査定時に復旧工法や事業費を精査し、復旧工事発注時に適正な工事費積算を行っている。</td> </tr> <tr> <td>○ ▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>○ × 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由 災害査定時に復旧工法や事業費を精査し、復旧工事発注時に適正な工事費積算を行っている。	○ ▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由 災害査定時に復旧工法や事業費を精査し、復旧工事発注時に適正な工事費積算を行っている。			
○ ▲ 少し削減の余地があった				
○ × 削減の余地があった				

ACTION		
改善	事業内容の方向性	
	A 現状維持	理由 被災した林業用施設の機能回復を図るため当事業が必要。
	B 内容の見直し	
	C 統廃合・休止・終了	
	事業規模の方向性	
	B 現状維持	理由 被災した林業用施設の機能回復を図るため当事業が必要。
A 事業拡大		
C 事業縮小		

平成22年度 事務事業評価

整理番号
38-31

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	11	01	02	01	01
細事業名		現年発生林業用施設災害復旧事業(H20繰越)				

担当部局	農林水産環境部
担当課等	農林整備課
担当課長の氏名	森田 正二
担当者の氏名	野村 隆文

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) I 交流経済都市 計画項目 (施策) ② 農林業の振興 施策方針
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 平成20年7月28日発生7月豪雨により被災した林業用施設の機能回復を図り、農業経営の安定、公益的機能の確保に資するため、早期に復旧を行う。 事業の目的 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 平成20年7月28日発生7月豪雨により被災した林業用施設を対象に、災害復旧工事を行った。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 災害復旧工事等を行うことにより、被災した林業用施設の機能回復を行った。 補助災害復旧事業 工事1件(林道 熊谷線) 単独災害復旧事業 工事3件(林道 太鼓山線1・2号箇所、熊谷線)

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入	
	節	金額(千円)	項目	名称 金額(千円)
	11	382	国庫支出金	林業用施設災害復旧
	15	5,941	府支出金	
			起債	
			分担金・負担金	
			その他	
			一般財源	6,323
事業費合計		6,323	合計	6,323

CHECK							
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか						
	<table border="1"> <tr> <td>○</td> <td>進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由 被災した林業用施設の機能回復を図るため災害復旧を行った。</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○	進捗している(できている)	理由 被災した林業用施設の機能回復を図るため災害復旧を行った。	○	▲ 少し遅れている(少しできていない)	○
○	進捗している(できている)	理由 被災した林業用施設の機能回復を図るため災害復旧を行った。					
○	▲ 少し遅れている(少しできていない)						
○	× 遅れている(できていない)						
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか						
	<table border="1"> <tr> <td>○</td> <td>削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由 災害査定時に復旧工法や事業費を精査し、復旧工事発注時に適正な工事費積算を行っている。</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○	削減の余地がなかった	理由 災害査定時に復旧工法や事業費を精査し、復旧工事発注時に適正な工事費積算を行っている。	○	▲ 少し削減の余地があった	○
○	削減の余地がなかった	理由 災害査定時に復旧工法や事業費を精査し、復旧工事発注時に適正な工事費積算を行っている。					
○	▲ 少し削減の余地があった						
○	× 削減の余地があった						

ACTION							
改善	事業内容の方向性						
	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由 被災した林業用施設の機能回復を図るため当事業が必要。</td> </tr> <tr> <td>A</td> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td>A</td> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A	A 現状維持	理由 被災した林業用施設の機能回復を図るため当事業が必要。	A	B 内容の見直し	A
A	A 現状維持	理由 被災した林業用施設の機能回復を図るため当事業が必要。					
A	B 内容の見直し						
A	C 統廃合・休止・終了						
改善	事業規模の方向性						
	<table border="1"> <tr> <td>B</td> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由 被災した林業用施設の機能回復を図るため当事業が必要。</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	B	A 事業拡大	理由 被災した林業用施設の機能回復を図るため当事業が必要。	B	B 現状維持	B
B	A 事業拡大	理由 被災した林業用施設の機能回復を図るため当事業が必要。					
B	B 現状維持						
B	C 事業縮小						